每金曜日發兌

# 理財科講義

明治二十六年三月三日

第六十五

專修學校

# 目録


經濟汎論（原論ノ部）　文學士　中隈哲藏
實際統計學　　吳文聰
經濟史論　法學士　伴野乙彌
商法（第一編第二章商取引）　法學士　鈴木宗言
私犯法　法學士　中川一介
二十年來經濟世界之景況　法學博士　田尻稻次郎


專修學校理財學會演說


航路擴張論　文學士　中川順次郎


末ニ至リテ支給シ或ハ之ヲ貯金ニ投シ一定ノ期限後若クハ豫メ定メタル場合（病氣ノトキ或ハ家族ニ死亡者アルトキト定ムルカ如キコト）ニアラサレハ引出スコトナカラシムル例モ尠カラス

（二）歩合配當法　本法ハ手當法ノ一層進歩シタルモノニシテ利益ノ精確ナル調査ヲ爲シ豫メ定メタル歩合ニ據リテ利益ノ幾分ヲ勞力者ニ分與ス此法ニ據ルトキハ手當法ヨリモ尙ホ一層ノ好結果（雇主ハ其利益ノ幾分ヲ割キ其代リニハ勞力者ノ勉强力ヲ增シ又器械器具ノ取扱ニ注意シ生產元品或ハ助成品ヲ濫費セサル等ノコトアリ故ニ之カ爲メ決シテ雇主ノ利益ヲ舊ニ比シテ減少セサルノミナラス却テ增加スルヲ得ヘシ）ヲ望ムコトヲ得キノ道理アリ

然リト雖モ茲ニ又歩合配當法ノ働キヲ妨クルモノアリ何ソヤ一ニ曰ク事業ノ性質是レナリ事業ノ性質トシテ其益金ニ著シキ進歩ヲ呈スルニハ重ニ勞力者ノ働キニ依ラサルヲ得サルモノアリ又ハ重ニ資本ト事業經營主トノ働キニ依ラサルヲ得サルモノアリ故ニ前段ノ如キ性質ヲ有スル事業

ニアラサレハ歩合ヲ高クスルコト能ハサルナリ二ニ曰ク益金ヲ算定スルノ容易ナラサルコト是レナリ益金ヲ算出スルハ事業ニ依リテハ非常ニ困難ナルノミナラス殆ト爲シ能ハサル事業モ亦尠シトセス隨ヒテ益金ノ多少如何ニ就キテ雇主ト勞力者トノ間ニ紛議ヲ生シ或ハ勞力者ハ常ニ疑心ヲ抱キ歩合配當ノ法ニ據リ却テ雇主ト勞力者トノ好意ヲ損スルコトナシトセス果シテ然ラハ歩合配當法ハ益金ヲ精確明瞭ニ算出スルヲ得ヘキ事業ニハ適當ノ方法ト云フヘキモ益金ヲ精確明瞭ニ算出スルヲ得サル事業ニハ殆ント適用スヘカラサルナリ

米國博士イリー氏ハ米國ニ於テ利益分配法實施ノ狀景ヲ述テ曰ク云々斯ク爲ス時ハ雇人カ製造ノ物質及器械ヲ用フルコト經濟ニシテ一般ニ其熱心ヤ成功ヲ增スモノナリ此結果ハ大ニ生產ノ全額ヲ增シ又勞力者ヲシテ大ニ其收入ヲ增サシム利益分配ハ米國ニ於テ試行セラレ大製造場ハ之ヲ用ヰテ成功ヲ得タリ近來此方法ヲ用ヰタル米國雇主ノ證言ニ據レハ一般ニ之ヲ稱賛セリ尤其内一人ノ有名ナル製造家ハ之ヲ廣シ又一二ノ製造家



ハ十分其希望ヲ果サヽルモノアリ或ル勢力アル雇主ハ之ヲ實際ニ行フテ利益アルコトヲ稱シ大ニ熱心セリ一製造場ノ役員ニシテ其雇人中ニ十萬弗以上ノ利益金ヲ配當セル者ハ著者ニ告ケテ其組合員等ハ利益分配ヲ以テ最良ノ手段トナスト云ヘリ彼等ノ此方法ニ依リテ最モ卓絶從順ナル職工ヲ得タリト思考ス米國ニ於テ三箇月間ノ統計ヲ擧クレハ少クモ一萬人ノ職工ハ利益分配ヲ受クルニ至レリ

(三) 株式分有法　本法ハ雇主ニ於テ小金額ノ株式ヲ發行シ勞力者ヲシテ之ヲ購買セシメ彼等ヲシテ一法ニハ其勞役ニ從事スル所ノ事業ノ株主タルノ資格ヲ有セシメ一方ニハ純然タル勞力者ノ資格ヲ有セシムルニアリ故ニ本法ニ據レハ勞力者ハ勞力者ノ資格上ヨリハ歩合配當法ニ據リ益金ノ内ヨリ豫メ定メアル歩合ノ配當ヲ受ケ株主即チ資本家タルノ資格上ヨリハ雇主ト同シク其所有株式ノ金高ノ多少ニ應シ益金ノ配當ヲ受クヘシ抑モ該法ハ斯ノ如ク雇主ト勞力者ト利害ヲ共ニスルノ方法中最モ完全ナル仕組ナルカ故ニ之ヲ以テ資本家ト勞力者トノ和合ヲ計ルノ手段トシテ非常

ノ賛成ヲ表シ大ニ望ヲ該法ニ屬スル者尠カラス然レトモ我輩ハ未ク該法ニ充分ノ望ヲ屬スルコト能ハサルナリ何トナレハ既ニ第二歩合配當法ヲ論スルニ當リテ歩合配當法ノ施行上ニ種々ノ困難アルコトヲ陳述セシカ如ク株式分有法ニモ亦同シク其困難アルヲ免レサレハナリ是レ他ナシ株式法ハ一方ヨリ見ルトキハ歩合配當法ニ外ナラス加之ナラス株式分有法ニ據ルトキハ勞力者カ非常ノ忍耐ヲ以テ漸ク貯蓄シ得タル資本ヲ失フ(事業管理者ノ失錯若クハ世ノ不景氣等ニ由リ)ノ患アリトス然リト雖モ株式分有法ニシテ其功ヲ奏セシ例モ亦尠カラスト云フ能ク其事業ノ性質ノ適否、益金算出ノ難易等ヲ考ヘ其實行ヲ試ミルヲ良シトス尤モ最初ヨリシテ株式分有法ヲ採用スルハ策ノ得タルモノニアラサルヘシ先ツ手當法ヲ實行シ好結果ヲ得レハ尚ホ一歩ヲ進メテ歩合配當法ヲ採用スヘシ而シテ同シク好結果ヲ得レハ株式分有法ヲ採用スルモ蓋シ過チナカルヘシ

## 第四節　勞銀ノ多少ニ就テノ意味



勞銀ノ多少ニ就キテハ三種ノ意味アリ

(一) 辛勞ニ對シ勞銀ノ多少是レ即チ勞力者カ一定量ノ勞力ヲ施シテ得ル所ノ報酬ノ多少ヲ意味ス勞銀ノ事ヲ論スルニ當テ別ニ注意ヲ請ハサルトキハ此意味ノ勞銀ヲ云フ

(二) 勞力ノ結果ニ對シ勞銀ノ多少即チ雇主カ一定量ノ勞銀ヲ與ヘテ得ル所ノ報酬ノ多少ヲ意味ス與フル所ノ勞銀ニ比較シ生産大ナルトキハ雇主ハ勞銀安シト云ヒ反對ノトキハ勞銀高シト云フ

(三) 勞力者ノ生計ノ程度ニ對シ勞銀ノ多少即チ勞力者ノ生活上ノ入用ヲ辨給スルニ足ルト足ラサルトハ此意味ノ勞銀ノ多少ニ關係ス

又勞銀ノ量ヲ計ルニ金錢ノ分量ヲ以テスルアリ或ハ有用物(實物)ノ分量ヲ以テスルアリ各一ナラス故ニ勞銀ノ實力ヲ知ラント欲セハ後段ノ法ニ據ラサレハ不可ナリ又某處ニ於テ某時ニ行ハルヽ種々ノ勞銀ヲ比較セント欲セハ前段ノ方法ニ據ルヲ最モ便利ナリトス之ニ反シテ其時代ト場所トヲ異ニスル場合ニ於テハ後段ノ方法ニ據ラサルヘカラス

# 第四欵　勞銀ノ原則

## 第一節　勞力ノ生産入費ト勞銀トノ關係

勞力ノ生産入費ハ勞力者ノ方ニ取リテハ最モ緊要ナル事柄ナリ勞銀ハ何程減少スルモ永ク生産入費以下ニ降ルコト能ハス故ニ生産入費ハ勞銀ノ最下限ヲ表スルモノナリ抑勞力ノ生産入費トハ即チ勞力者カ勞働ニ從事スルニ就キテ要スル費用ナリ他言ヲ以テ云ハヽ勞力者ノ生計入費(家族ヲ養フ費用ヲモ包含ス)ナリ勞力者ノ生計入費ハ勞力社會ニ於ケル生計ノ程度、一家族ノ平均人員(日本ニ於テハ一家族ノ平均數ハ四人以上ナリシカト覺ユ)ニ關係スヘシ其他勞力ヲ爲ス年齡ニ至ルマテニ費シタル養育及ヒ敎育費、老年ニ達シ勞力ヲ爲ス能ハサル時ニ要スル生計ノ入費等モ亦勞力ノ生産入費中ニ編入セサル可カラス

エンゲル氏ハ人生ヲ分チテ第一不生産的時代、第二不生産的時代ニ區別スト云フ即チ左ニ

第一　青年時期(第一不生産的時代)出生ノ時ヨリ平均十五歲ニ達スルマテ

第二　老年時期(第二不生産的時代)平均六十五歲以上ヨリ鬼籍ニ入ルマテ

第一第二ノ間ヲ勞力時期(生産的時代)ト云ヒ平均十六歲ヨリ平均六十五歲ニ達スルマテ即チ五十年間トス

又同氏ハ勞力ノ生産入費ヲ大別シテ左ノ四種トス

第一　青年時期ニ於テ費シタル養育及ヒ敎育ノ費用ヲ回收スルコト

第二　勞力時期ノ間生命勞力ヲ維持スルニ必要ナル費用

第三　老年時期ノ間生命ヲ維持スルニ必要ナル費用

第四　埋葬ニ必要ナル費用

又同氏ノ計算ニ據レハ初等普通ノ敎育ヲ受ケタル者ノ勞力ノ生産入費ハ年ニ二百八十二(ターレル)中等ノ敎育ヲ受ケタル者ハ年ニ六百十九(ターレル)(高等ノ敎育ヲ受ケタル者ハ年ニ九百十八(ターレル)ナリト云ヘリ(二(ターレル)ハ凡ソ我カ七十五錢トス)

プレンタアノ氏ノ說ニ據レハ勞力ノ生産入費ハ勞力者一家ノ日々ノ生計ニ

必要ナル入費ノ外ニ尙ホ六種ノ入費アリ何レモ勞力ノ所得中ヲ以テ夫々支辨スルノ用意ヲ爲サヽルヘカラスト云フ即チ

第一　勞力者ノ死後ニ必要ナル小兒養育費

第二　老後ニ備フル費用

第三　埋葬ニ備フル費用

第四　負傷ニ備フル費用

第五　疾病ニ備フル費用

第六　仕事ノナキトキニ備フル費用

同氏ノ計算ニ據レハ獨逸國ニ於ケル普通勞力者ノ勞力生產入費ハ年ニ平均一千八十三マルク（ナリト云フ左レハ勞力ヲ爲ス日數ヲ一年ニ三百五日ト見レハ一日ニ三マルク）平トナルヘシ（二マルクハ我カ二十五錢トス）

斯ノ如ク勞力ノ生產入費ノ成分トナル費用ハ種々アリト雖モ勞力者ノ經濟ニ取リテ最モ重要ノ關係ヲ有スルモノハ前ニ所謂勞力社會ニ於ケル生計ノ程度（ミル氏ノ所謂スタンダード、オフ、ライフ）ヅグチル氏ノ所謂（レベンスマスターブ）



即チ是レナリ抑〻生計ノ程度ナルモノハ均シク同一ノ勞力社會ニ於テモ人々ニ依リテ多少異ナリ風土氣候ニ依リテ異ナリ開明ノ程度ニ依リテ異ナリ其他ノ原因ニ依リテ異ナルヲ以テ必スシモ同一ナラスト雖モ勞力社會全體上ヨリ觀察ヲ下ストキハ某處某時ニ勞力社會中ニ行ハルヽ生活ノ品位ハ之ヲ平均シテ自ラ一定ノ程度ヲ有スルコトヲ得ヘシ此生計ノ程度ハ即チ勞力社會生計ノ普通慣習トナリタルモノ是レナリ

（ロスシエル氏曰ク暖國ニ於テハ寒國ニ於ケルヨリモ衣食住ノ費用割合ニ少シ（中略）佛國ニ於テハ曾テ其人民ノ三分二ハ粟、玉蜀黍、馬鈴薯ヲ常食トシ殆ト肉食スル者ナカリキ之ニ反シテ英國ハ麥、砂糖、ブランデー、茶、珈琲、烟草、石鹼、新聞紙等ハ勞力社會ニ於ケル普通ノ消費物ナリ云々

勞力社會ノ生計ノ程度ニシテ該社會ノ經濟上重大ノ關係ヲ有スルハ他ニアラス勞力者カ勞銀ノ多少ヲ爭フニ際シ此程度ヲ維持セントスルノ抗抵力ヲ有スルヿト即チ是ナリ生計ノ程度ハ此抗抵力ヲ顯ハシ此抗抵力ハ勞銀ヲ維持スルノ働キヲ有スヘシ故ニ生計ノ程度ハ勞銀ヲ定ムルノ一大原因トナルナリ生計

ノ程度ヲ以テ勞銀ノ多少ヲ決スル一大原因トスルハ蓋シ經濟學者ノ皆一致スル所ナリ

ロスシエル氏ハ勞力社會ノ生計ノ程度ヲ論シ其局ヲ結ヒテ曰ク勞銀ノ多少ヲ定ムルノ主因ハ既ニ勞力社會其者ノ掌中ニアルコト夫レ此ノ如シ果シテ然ラハ彼ノ勞銀ハ需要供給ノ原理ニ依リ其平均額ハ常ニ生計上鋏クコト能ハサル額(最上ノ必要ト云フ意ナリ)ニマテ減少スヘシト云フ無情ナル原則アリト云フカ如キハ大ナル謬見ナリ云々

夫レ生計ノ程度其物ハ確定不動ノモノニアラス場合ニ依リテ進歩シ場合ニ依リテハ退歩スルモノナリ請フ少シク之ヲ辯セン前ニ述ヘタルカ如ク生計ノ程度ハ勞銀ノ多少ヲ定ムルノ一大原因タルニハ相違ナケレトモ亦反對ニ勞銀ノ多少ハ生計ノ程度ヲ進メ或ハ退歩セシムルコトアリ例ヘハ經濟上ノ變遷ニ由リ勞銀ノ增加ヲ永ク繼續スルトキ生計ノ程度一層ノ進歩ヲ顯ハスコトヲ得ヘシ而シテ勞力者ハ從前ヨリモ一層上等ノ生活ヲ爲スコトニ慣レ習性トナルヲ通例トスルニ由リ其新ニ慣習トナリタル生計ノ程度ハ更ニ勞銀ヲ維持スル



原因トナルヘシ又之ト反對ノ場合即チ經濟上ノ變遷ニシテ勞力社會ニ不利ナルトキニ當リ果シテ勞力者ハ其既ニ達シタル生計ノ程度ヲ保持スルヲ得ルヤ否ヤハ前ニ所謂勞力者ノ抗抵力ハ勞銀ヲ減少セントスルノ勢力ニ打勝ツコトヲ得ルヤ否ヤニ關係ス若シ之ニ打勝ツコト能ハサルトキハ生計ノ程度ヲ低下スルコトアルヘシ何トナレハ生計ノ程度ハ元來確定不變ノモノニアラス其進ムコトヲ得ルト同一ノ理由ニ依リ亦退クコトナシトセサレハナリ而シテ其進ムモ慣習ナリ退クモ慣習ナリ勞銀ノ減少永ク繼續スルトキハ勞力者ハ從前ヨリ一層下リタル生活ニ慣レテ最早從前ノ生計ノ程度ヲ回復スルノ氣力ヲ失ヒ遂ニハ生計ノ程度ヲ永遠ニ引下クルコトヽナルヘシ

ロスシエル氏ハ前ニ引用セル彼ノ無情ノ原則云々ノ次ニ尙ホ言ヲ繼キテ曰ク成程其現時ニ當リテハ各勞力者ニ取リテモ勞力社會ニ取リテモ殆ント其勞力ノ供給ヲ左右スルコト能ハサルヘシ何トナレハ彼等ハ死以テ生ニ代フル譯ニハ至ラサルヲ以テ我ヲ先キニシテ市場ヲ爭ハサルヲ得サレハナリ然リト雖モ將來ノ供給(前ノ現時ニ照應スルノ意ナラン)ハ勞力社會ノ家族ヲ增

加スルト增加セサルトニ關係スルヲ以テ彼等自身ノ意思(彼等ノ遠慮注意ヲ指スノ意ナラン)如何ニアリト云ハサルヲ得ス例ヘハ茲ニ勞力社會ヲ利スル一ノ顯象ヲ生シ彼等ノ勞銀ヲシテ多少豐饒ナル生計ヲ營ムニ足ルノ增加アラシメタリト假定スレハ彼等勞力社會ニ於テ之ヲ利用スルニ二途アリ第一其生計ノ品位ヲ高メルコト(中略)斯ク高メタル所ノ生計ノ品位ハ子孫ヲ養育スルニ就キテモ亦一ノ標準トナリ自然家族ヲ增加セサルコトナルヘシ第二依然トシテ從來ノ生計ノ品位ヲ維持スルコト而シテ餘地アルノ食物ハ(勞銀ノ增加シタル部分ヲ指スノ意ナラン)男女ノ肉體ノ情ヲ早ク且ツ長ク滿足スルカ爲メニ之ヲ利用(早婚ヲ意味スルナラン)シ以テ勞力者ノ人口ヲ增加スルニアリ而シテ前世紀ノ末ニ於テ英國ノ人民ハ第一ノ方向ヲ取レリ此時英國ノ經濟ハ頓ニ進歩シ勞力者ノ需要增加シ急ニ其勞銀ヲ增加シタリ之ニ反シテ愛蘭人ハ第二ノ方向ヲ取レリ(愛蘭ニ於テモ前世紀ノ末ニ於テ經濟ノ進歩顯ル著シカリシト同時ニ馬鈴薯ノ繁殖盛ニ流行シ又現世紀ノ始メニ英國ト合併シタルニ依リ彼等ノ衣食上大ニ餘地ヲ生セリ)英蘇兩國ノ人口ハ千七百



二十年ヨリ千八百二十一年マテノ間ニ增加セシコト僅々二倍以上ナリシモ愛蘭ニ於テハ千七百三十一年ヨリ千八百二十一年マテニ二百萬人ヨリ殆ト七百萬人ノ多キニ達セリ英蘇兩國ニ於ケル勞銀ハ平均二十「ペンス」ヨリ二十四「ペンス」(一「ペンス」ハ我カ二錢一厘)ナリシモ愛蘭ニ於テハ僅々五「ペンス」ヨリ二十シハ敢テ怪シムニ足ラサルナリ千八百六十六年頃ニハ英蘭ニ於テ一週間ノ勞銀平均二十二「シルリング」平(一「シルリング」ハ我カ二十五錢)蘇格蘭ハ二十「シルリング」平愛蘭ニ於テハ十四「シルリング」平ナリシト云フ尤モ斯ク其取リシ所ノ方向ヲ異ニスル原因ノ一部ハ兩國ノ人民大ニ其事情ヲ異ニセルニ由ルモノト云フヘシ愛蘭ノ人民ハ貴族社會ノ收斂束縛ヲ受クルコト甚シク爲メニ殆ト自主ノ人民タルヲ得ス從ヒテ文明ノ進歩ニ伴フテ文明ノ地位ヲ占ムルコト能ハスシテ中古ノ時ノ位置ヲ失ヘリ(中古ノ時ノ位置ヲ脫スル代リニ文明ノ地位即チ自由ノ權自主ノ心得ヲ有スルニ至ラサリシナラハ事ロ中古封建ノ時ノ位置ヲ保持スルニ如カスト云フノ意ナラン)其政治上宗教上及ヒ社會上ノ壓制ニ憤レ一朝奮發シテ自由ノ人民トナリ其位置ヲ高メント欲ス

ルノ念慮ナカリキ先哲ノ言ニ曰ク將來ヲ慮ル者ハ唯夫レ自由ノ人アルノミト(中略)勞力社會全體ノ生計ノ程度ヲ進ムルニハ著シキ勞銀ノ增加アルニアラサレハ不可ナルヲ通例トス例ヘハ千七百十五年ヨリ同六十六年迄ノ間每年ノ豐作ニテ右ノ效驗ヲ著ハセリ即チ千六百六十年ヨリ千七百十九年マテハ一日ノ勞銀平均小麥ニ積リ三分ノ一「ペック」ナリシニ千七百二十年ヨリ同五十年マテノ平均ハ一「ペック」ナリシ云々

斯ノ如ク生計ノ程度ナルモノハ確定不變ノモノニアラサルヲ以テ勞力ノ生產入費モ亦確定不變ノモノニアラサルコトヲ知ルヘシ何トナレハ生計ノ程度昇ルトキハ勞力ノ生產入費增加シ生計ノ程度降ルトキハ勞力ノ生產入費減少スヘケレハナリ而シテ生計ノ程度ヲ進ムルハ固ヨリ人情ノ欲スル所ニシテ其進歩ニ抵抗スルノ勞力者ナキハ勿論ナレトモ其退歩スルハ人情ノ惡ム所ナルヲ以テ苟モ野蠻蒙昧ノ人民若クハ奴隷同樣ノ人民ニアラスシテ自主自由ノ人民タリ少シク將來ヲ慮ルノ能力アル以上ハ其退歩ニ向ヒテハ抵抗力ヲ顯ハシ慣習ノ程度ヲ維持セント欲シ自ラ處スル所アルヘシ又或ル好機會ヲ得テ從前ヨリモ增加シタル勞銀ヲ永ク繼續スルトキハ生計ノ程度更ニ一層ノ進歩ヲ顯ハシ新ニ慣習トナリ大ニ勞力者ノ生計ノ品位ヲ高ムルコト能ハサルニアラス生計ノ程度ハ勞銀ノ定マルニ就キテ大ナル實力ヲ有スルモノナリ

## 第二節　勞銀ニ關スル諸大家ノ說

勞銀ニ關シ諸大家ノ說ハ凡ソ三ツアリ第一ハリカルドー氏ノ勞銀說ナルヘシ第二ハミル氏ノ勞銀說ニシテ第三ハ新說即チ近世諸大家ノ唱フル所ノ說ナリ是ヨリ順ヲ追フテ之ヲ講述セン

### 第一　リカルドー氏ノ勞銀說

リカルドー氏ハ勞力ノ生產入費ト云フコトニ非常ノ力ヲ置キタリ而シテ其之ニ非常ノ力ヲ置キタルハ可ナリト雖モ其立論ノ上ニ於テ缺典ナキニアラス其缺典アルカ爲メニ或ハ世人ヲシテ偏見ニ陷ラシメ或ハ彼ノ無情ナル原則ト云フ(此事ニ付キテハ前ニロスシエル氏ノ言ヲ引用シテ說明ヲ爲セリ)非難ヲ來タシタリ

リカルドー氏ノ說ニ據レハ勞力ノ價ハ恰モ物品ノ價ノ如ク其生產入費ニ依リテ決セラレ該生產入費ハ即チ勞力ノ自然ノ價(ナチユラル、プライス)ニシテ需要供給ノ如何ニ依リテ定マル所ノ價ナル市價(マーケット、ヴリリユー)ハ或ハ此自然ノ價ニ超過シ若クハ不足スルコトアルモ永遠ノ勞銀(即チ平均ノ勞銀)ハ自然ノ價ト符合スヘシト云フ

リカルドー氏勞力ノ自然ノ價ヲ解釋シテ曰ク勞力ノ自然ノ價トハ勞力者ノ人口ヲ增スコトモナク減スルコトモナクシテ勞力者ノ生命ヲ保チ又其蕃殖ヲ繼續スルニ缺クヘカラサル價ヲ云フ

又勞力ノ市價ヲ解釋シテ曰ク勞力ノ市價トハ需要ト供給トノ關係ニ依リテ現ニ勞力ニ對シ支拂ハルヽ所ノ價ヲ云フ

又曰ク勞力ノ市價ニシテ勞力ノ自然ノ價ニ超過スルトキハ勞力者ハ幸福繁榮ナルトキナリ其生計ヲ裕ニシ一家數口ノ健康ヲ進ムルヲ得ルノトキナリ然リト雖モ高キ勞銀ニシテ人口ノ增加ヲ促シタルノ結果トシテ勞力者ノ數ヲ增加スルトキハ勞銀ハ再ヒ自然ノ價ニ下落スヘシ曾ニ自然ノ價ニマチ下



ニ由リ又其原因ノ如キモ比年此ニ注目スル衛生家、統計家又ハ特別ノ吏員ニアラサレハ說明シ難キ所ナリ

今參考ノ爲メ歐洲各國ノ死亡歩合ヲ示サン

| 國名 | 千八百六十年ヨリ同七十年迄ノ平均 | 千八百七十年ヨリ同八十年迄ノ平均 | 國名 | 千八百六十年ヨリ同七十年迄ノ平均 | 千八百七十年ヨリ同八十年迄ノ平均 |
|---|---|---|---|---|---|
| 匈牙利 | 三八・七 | 四〇・一 | 佛蘭西 | 二二・九 | 二四・三 |
| 墺地利(本部) | 三〇・四 | 三一・二 | 和蘭 | 二〇・一 | 二四・三 |
| 伊太利 | 三一・一 | 二九・七 | 瑞西 | 二四・〇 | 二四・〇 |
| 西班牙 | — | 二九・七 | 白耳義 | 二二・八 | 二二・六 |
| 日耳曼 | — | 二七・一 | 蘇格蘭 | 二二・一 | 二一・八 |
| 英吉利 | 二二・六 | 二一・三 | 丁抹 | 二〇・一 | 一九・三 |
| 瑞典 | 二〇・〇 | 一八・五 | 愛爾蘭 | 一六・八 | 一八・三 |

愛爾蘭ハ國柄ノ惡シキニ拘ハラス死者ノ少キハ甚タ奇異ナリ然レトモ今之カ說明ヲ見出サヽルカ故ニ又調査シテ補說スヘシ

以上諸數ニ比シテ本邦死亡ノ歩合ハ少キ方ナリ蓋シ衛生上狀態ハ各國ニ比シ

ヲ宜シキ方ナラン

都市ト村落ノ死亡歩合　此ハ又講究ヲ要スル問題ナリ明治廿二年人口貳萬五千以上市街死亡ハ百八十九頁ニ載セタレハ就テ視ルヘシ蓋シ各國トモニ村落ニ比スレハ都市ニ死亡多シト知ルヘシ

歐米名都十數所ノ死亡歩合ハ之ヲ左ニ示サン

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 倫敦 | 二一・一 | 巴里 | 二八・六 | 伯倫 | 二七・六 |
| 彼得堡 | 五一・四 | 新約克 | 二六・二 | 羅馬 | 二六・八 |
| アムステルダム | 二三・七 | 費府 | 二〇・三 | 桑港 | 一八・一 |
| ウインナ | 二九・〇 | マドリッド | 三七・四 | | |

年齢ト死亡ノ關係　余ハ已ニ人口千ニ付平均ノ死亡明治二十一年ニ於テ十九人ナルコトヲ示セリ今同年ニ於ケル死亡者ヲ各年齢級ノ生存者ニ配當シ各級大ニ其異ナルモノアルヲ示サン但シ人口ハ二十一年十二月三十一日現在ニテ死亡者ハ同年中ノモノナリ即チ

人口ハ三千九百六十萬七千二百三十四人

死亡者ハ七十五萬六千三百五十七人



此毎千人死亡歩合ハ十八人七分四厘ナリ

但シ此死亡數ノ前ニ掲ケタル數ト異ナルハ年齢別ノ調査ノ方三千五百二十三人多キカ爲メニシテ是レ材料ノ泉源異ナルカ故ナリ(統計學雜誌七十二號)

サテ次ノ表ニ於テ注意スヘキハ各年齢ニ於ケル死亡歩合男女ニ於テ異ナルコトナリ即チ五歳以下及十歳以下ニ於テハ男ノ死スル割合多ク十歳以上四十歳以下マテハ悉ク女ノ死亡多キコトナリ此ハ年齢ニ在ツテハ女子天禀ニ於テ嗣點多キカ爲メナラン懷妊出産ノ如キ其重ナルモノニシテ其他種々ナル婦人病ニ罹ルモノ多シ

四十六歳以上ニ在リテハ殆ント皆男子ノ死亡歩合多シ是レ男子ノ長壽少ク女子ノ多ク遺存スル所以ナリ

然ルニ其次ニ掲クル英國ノ表ニ在リテハ第一ニ驚ク可キハ零歳ヨリ五歳マテノ死亡歩合男女其差ノ著シキコトナリ次ニ十歳ヨリ二十歳マテハ女子ニ比シテ男子健康ナレト其他ハ悉ク男子ノ方死亡ノ割合多キコトナリ是レ本邦ニ比

シテ一大差異ナリトス是ニ由テ之ヲ觀レハ本邦人ニ男子多ク歐洲人ニ女子多キ原因ノ一ツハ此ニモアランモ未タ知ル可ラス尙ホ一層ノ考究ヲ必要トス是レ亦偶然ノ一發見ト云フヘシ

| 年齢 | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 五歲以下 | 四九·一七 | 四四·四五 |
| 十歲以下 | 六·二五 | 六·〇五 |
| 十五歲以下 | 三·九一 | 四·〇九 |
| 二十歲以下 | 五·七八 | 六·四四 |
| 廿五歲以下 | 七·三七 | 八·六四 |
| 三十歲以下 | 七·四七 | 九·〇九 |
| 三十五歲以下 | 八·〇六 | 九·九〇 |
| 四十歲以下 | 九·四〇 | 一〇·九八 |
| 四十五歲以下 | 一一·五六 | 一一·六四 |
| 五十歲以下 | 一四·六四 | 一二·二九 |
| 五十五歲以下 | 一九·九八 | 一五·七一 |
| 六十歲以下 | 二六·九三 | 二一·四八 |
| 六十五歲以下 | 三八·〇三 | 二九·八七 |
| 七十歲以下 | 五三·八三 | 四四·八七 |
| 七十五歲以下 | 七九·〇六 | 六六·三〇 |
| 八十歲以下 | 一一三·九四 | 九七·六七 |
| 八十五歲以下 | 一六三·九四 | 一四一·〇八 |
| 九十歲以下 | 二三四·五八 | 二一五·八七 |
| 九十五歲以下 | 三三三·二二 | 二八三·六六 |
| 百歲以下 | 三五三·四〇 | 三七〇·六四 |
| 百歲以上 | 二八〇·〇〇 | 三〇五·五六 |
| 平均 | 一八·九七 | 一八·五〇 |
| | | 一七·八九 |
| | | 二四·二一 |
| | | 三三·八八 |
| | | 四九·一五 |
| | | 七二·一一 |
| | | 一〇四·六九 |
| | | 一五〇·一七 |
| | | 二二二·五六 |
| | | 二九九·〇六 |
| | | 三六五·六九 |
| | | 二九八·九七 |
| | | 一八·七四 |

之ト倘一ナル英威兩國ノ例ヲ示サン其他ノ國々ニモ多クノ類例存スレトモ繁冗ヲ厭テ此ニハ載セス但シ次ノ數ハ千八百八十一年乃至八十五年ノ事實ニ據

ル

| 年齢 | 男 | 女 |
|---|---|---|
| 零歳ヨリ五歳マテ | 五九・六〇 | 五〇・四八 |
| 五歳ヨリ十歳マテ | 五・七八 | 五・六二 |
| 十歳ヨリ十五歳マテ | 三・一六 | 三・三〇 |
| 十五歳ヨリ二十歳マテ | 四・五六 | 四・七二 |
| 二十歳ヨリ二十五歳マテ | 六・〇〇 | 五・九四 |
| 二十五歳ヨリ三十五歳マテ | 八・一八 | 七・九〇 |
| 三十五歳ヨリ四十五歳マテ | 一二・七四 | 一〇・九〇 |
| 四十五歳ヨリ五十五歳マテ | 一九・四二 | 一五・二四 |
| 五十五歳ヨリ六十五歳マテ | 三三・六四 | 二七・八二 |
| 六十五歳ヨリ七十五歳マテ | 六八・七八 | 五九・四六 |
| 七十五歳ヨリ八十五歳マテ | 一四四・六〇 | 一二九・四〇 |
| 八十五歳以上 | 二九六・四〇 | 二六七・八〇 |



平均　二〇・四二　一八・二四



四季ト死亡ノ關係　此ニ又全國死亡者ノ月別ケヲ示サント欲スレト其材料ナキヲ以テ亦東京府管下現住人ノ死亡ヲ示スヘシ明治二十一年ノ死亡數ハ總數三萬四千四百三十七人ニシテ其別左ノ如シ

| 月 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 一月 | 一三八九 | 一二九〇 | 二六七九 | 7 |
| 二月 | 一三五九 | 一二九八 | 二六五七 | 8 |
| 三月 | 一三一五 | 一二一八 | 二五三三 | 11 |
| 四月 | 一二二九 | 一一〇三 | 二三三二 | 12 |
| 五月 | 一三三五 | 一二八八 | 二六二三 | 9 |
| 六月 | 一四八二 | 一二七四 | 二七五六 | 5 |
| 七月 | 一九一〇 | 一五七二 | 三四八二 | 2 |
| 八月 | 二一九八 | 一八〇五 | 四〇〇三 | 1 |
| 九月 | 一七五九 | 一四四八 | 三二〇七 | 3 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 十月 | 一五三二 | 一二二〇 | 二七五二 | 6 | 二六 |
| 十一月 | 一三一七 | 一二五一 | 二五六八 | 10 | |
| 十二月 | 一五〇八 | 一三三七 | 二八四五 | 4 | |
| 計 | 一八三三三 | 一六一〇四 | 三四四三七 | | |

右ノ表ニ就テ之ヲ視レハ其最モ死亡多キハ八月ニシテ之ニ次クハ七月九月又之ニ次クハ十二月ナリサレハ七八九ノ炎熱ノ時候ニ次テ生命ニ危キハ極寒ニ近キ十二月ナリ之ニ次クハ一月二月ノ寒時期ナルヘキニサハナクテ十二月ニ次テ死亡ノ多キハ又稍ヤ暖氣ナル六月ナリ而シテ最モ死亡ノ少キハ三月及ヒ四月ナリ是レ陽春ノ氣萬物發育ノ時多分ノ危篤ナル病者モ一時輕緩ヲ覺ヘ五月ヲ越ヘ六月ニ至リ却テ死者ヲ增ス所以ナランカ然レトモ寒暑共ニ之レニ由リテ影響セラルヽハ病ニ由ツテ其度ヲ異ニスルノミナラス人ノ死亡ハ必ス氣候ノミニ限ラス他ノ事情ニ由ツテ影響セラルヽコトヲモ亦思ハサルヘカラス



此方法ニ依ルトキハ利息ハ常ニ一定ナルカ如シト雖モ其割合ハ始終不定ナリ何トナレハ三分利付百磅ノ公債ヲ五十磅ニ賣渡ストキハ其元金ニ對スル利息ノ割合ハ六分ニ相當スレハナリ故ニ此方法ヲ實施シタル後ハ頗ル世ノ非難ヲ起シタリ其要ニ云ク斯ル方法ニ依テ公債ヲ募集スルトキハ其元金一定セス從テ同一ノ利子付ナル公債モ甲ト乙トノ間ニ實際利息ノ差違ヲ生シ極メテ不公平ノ結果ヲ顯ハスニ至ラン且表面上利息ヲ一定シタルカ爲メ將來借換ヲナスノ道ヲ杜絶セリ如カス始メヨリ元金ヲ變更セスシテ寧ロ其利息ヲ異ニセンニハ時機ニ應シテ借換ヲナスノ便宜アリ且不公平ノ譏ヲ免レント斯ノ如ク非難常ニ絶エサリシト雖モ公債額面以内ノ價格ニテ市場ニ競賣スルトキハ迅速ニ豫期ノ公債金高ヲ募集シ得ルカ故ニ久シク此方法ヲ實行シ續ケタリ

プライス氏ハ公債償還ニ關シテ一種ノ方法ヲ按出シタリシカ其後ピット大宰相ノ採用スル所トナリシ其方法ハ利倍增殖法ニ類シタルモノナリ即チ一ノ公債償還基金ナルモノヲ設ケ其基金ヲ以テ毎年公債ヲ買收シ更ニ其買收シタル所ノ公債ヨリ生スル利息ヲ以テ前ノ償還基金ニ組ミ入ルヽモノナリ今此方法

ヲ看ルトキハ頗ル良案ナルカ如シト雖モ其實ハ決シテ公債元金ヲ償還スルニ非サルカ故毫モ國民ノ負擔ヲ減少スルコトナク且政府ニ於テ公債ヲ買收スルトキハ必ス其度毎ニ公債ノ市價ヲ上勝セシムルハ疑ナキ事實ナリ加之ナラス公債ヲ買收シ或ハ公債ノ利金ヲ償還基金ニ組ミ入ルヽニハ多少ノ費用ヲ要シ其費用ハ國民ヨリ租稅トシテ徵收スルヨリ他ニ道ナキヲ以テ公債元金ハ減少セスシテ只租稅ニ多キヲ加ルノミ然ラハ該償還法ノ利益尠ナクシテ弊害多キコト推知スヘシ是ヲ以テ最初該法ヲ實行セントスルニ當テ向五十箇年ヲ限リ英國ノ公債ヲ總テ償還シ終ルノ豫算ナリシカ其結果却テ反對トナリ更ニ四倍ノ公債ヲ募集スルノ已ムヲ得サルニ至リタリ然ラハ公債償還ハ如何ナル方法ヲ以テ最良トナスヤ曰ク直ニ其元金ヲ償還スルニ在ルノミ此方法ニ依ルトキハ假令悉皆償還サヽスニハ永年月ヲ要スト雖モ已ニ償還シタル部分ハ漸次國民ノ負擔ヲ減少スル所以ナレハ毫モ不可ナル所ナシ

又公債償還ニ關シテ新ニ一ノ方法ヲ按出シタル人アリ其方法ハ公債募集ノ際其募集額ノ幾分ヲ割テ償還基金トナシテ積立置クニ在リ然レトモ此方法ノ如



クセンニハ實際ノ必要高ヨリ多少餘計ノ公債ヲ募集シ以テ積立金トナサヽルヲ可カラス若シ然ラサルトキハ到底募集額中ヨリ其幾分ヲ控除スト云フカ如キコトヲ爲ス能ハサルナリ果シテ然ラハ是不用ノ公債ヲ募集シテ其利子ヲ支出シ無益ノ負擔ヲ國民ニ課スルナリ且不用ノ基金ヲ蓄積スルトキハ遂ニ之ヲ濫費スルノ傾キヲ生ス抑必要ナキノ剩餘金ヲ空シク國庫ニ藏置セサルハ財政上ノ原則ナリ況ンヤ何時償還スヘキヤ未タ豫期セサルニ先チテ之カ基金ヲ積立置クニ於テオヤ斯ル理由アルニ因リ遂ニ該方法ハ廢棄セラレタリ要スルニ今日英國ノ公債ヲ償還センニハ唯年金ノ方法ニ依リ逐年漸次償還スルヨリ他ニ途ナキモノトス

## 英國古代ノ租稅ノ性質

租稅ノコトニ關シテ有名ナル經濟學者アダムスミス氏ハ四箇ノ原則ヲ吾人ニ垂示シタリ曰ク(一)租稅ハ公平ニ課セサル可カラス(二)確定シタルモノナラサル可カラス其妄リニ動クモノハ不可ナリ(三)租稅徵收期ハ納稅者ニ取テ便利ナル時ナラサル可カラス(四)租稅ノ徵收ハ可成的費用ヲ要セサル方法ヲ以テセサル

可カラスト以上ハ租税ヲ研究スルモノニ最モ適切ニシテ且善良ナル法則ナリ然レトモ其原則ノ區分ニ關シテハ大ニ議論アル所ナリ如何トナレハ前述四原則ノ中第一ノ原則アレハ足レリ他ノ三原則ハ皆其ヲ敷衍シタルニ過キサレハナリ請フ聊カ之ヲ論述セン今茲ニ極メテ秩序ナキ租税アリ即チ甲ニ對シテ之ヲ徴收スルモ乙ヨリ徴收セスト云フカ如キモノアリトセンカ決シテ租税賦課ノ公平ヲ望ム能ハサルナリ又其徴收時期ニ於テモ然リ苟モ徴收其時ニアラス納税者ノ便否如何ニ關セス濫リニ賦課スルトキハ是亦決シテ公平ナル能ハサルナリ即チ英國ノ古代ニ於テ船舶ノ入港ト同時ニ其積載スル貨物ニ海關税ヲ課シタルカ如キハ尤モ適例ナリ何トナレハ其貨物ノ直接消費者ノ手裡ニ歸スルマテニハ非常ノ永キ時日ヲ要シ其時日間ニ必然生スル所ノ利息ハ皆該貨物ノ代價トナリテ消費者ノ負擔ニ歸スヘシ故ニ苟モ徴收其時ヲ失スレハ決シテ賦課ノ公平ヲ望ム能ハス又租税ヲ徴收スルニ當テ費用多キ方法ニ依ルトキハ是亦不公平ノ結果ヲ生スルハ更ニ喋々ヲ要セスシテ明晰ナリ是ニ由テ之ヲ推論スレハスミス氏ハ四箇ノ原則ヲ列擧シタレトモ畢竟租税ハ可成的公平ニ賦





課セサル可カラストノ一點ニ歸著スルカ如シ夫レ然リ租税ノ公平ハ誠ニ企望スヘシ然レトモ是レ言フ可クシテ到底實行スルコト能ハサルナリ唯其當局者タルモノ租税ヲ賦課スルニ臨ンテ可及的公平ニ近キヲ努ムレハ可ナリ豈ニ人力ノ能ス可カラサルコトヲ强ユ可ケンヤ次ニスミス氏ハ國民ノ租税ヲ負擔スヘキ義務アルコトヲ論シタリ其言ニ云ク一國ノ臣民ハ自己ノ堪エ能フヘキ資力ニ應シテ政府ヲ維持スル所ノ費用ヲ出サヽル可カラス之ヲ換言スレハ國家ノ保護ニ依テ獲タル自己ノ財産ニ割合シテ政費ヲ出サヽル可カラス云々ト是レ一國ノ人民ハ租税負擔ノ義務アルコト及ヒ其負擔スヘキ數額ハ何程ナルヤノ割合ヲ論定シタルモノナリ

凡ソ一國ノ民タルモノハ如何ナル階級ニ屬スルニ拘ハラス多少國家ノ保護ヲ享ケサルモノナシ已ニ多少ノ保護ヲ享タトセハ亦從テ其保護スル所以ノ用ニ供スル政費即チ租税ヲ負擔セサル可カラサルハ固ヨリ當然ノ理ナリ然レトモ社會ノ下層ニ在ル人々ハ其自身ノ勞働ニ必要ナル材料ヲ獲ルマテノ頓ハ必スシモ租税ヲ負擔セスシテ可ナリ故ニ近世マテハ斯ル下層ノ人々ニ直接ヲ以テ

租稅ヲ負擔セシムルコト殆ント之ナシ然レトモ世ノ進歩ト共ニ人事漸ク頻繁トナリ從テ政費モ多端トナリタルカ爲メ終ニ間稅ヲ以テ是等下層ノ人々ニモ間接ニ課稅スルノ已ムヲ得サルニ至レリ然リ而シテ間稅ナルモノハ不公平ヲ發生スルノ原因ニシテ間稅ノ弊害モ亦實ニ此ニ存セリ

英國古代ノ租稅ヲ按スルニ地方稅ヲ除ク外總テノ租稅ハ皆人民ヨリ國王ニ寄附スルモノト認定セラレタリ而シテ斯ル奇異ノ認定ヲナシタル起因ハ他ナシ古代ニ於テ國王所屬ノ財產ヨリ生スル收益ヲ以テ國王及ヒ國家負擔ノ經費ヲ支辨セシヲ以テ其不足ヲ生シタル時ハ人民ハ其不足額タケヲ租稅ノ形ニテ國王ニ寄附セシニ因レリ是レ古代ニ在テハ皇室ト政府ノ區別現時ト大ニ其趣キヲ異ニシ古代ノ英國臣民(勿論ノルマンヨリ來リタル貴族モ)ハ非常ノ時ヲ除ク外ハ總テ國王ノ財產ヲ以テ國家ノ經費即チ軍隊ノ養料大藏省ノ支出裁判官ノ給料其內地ニ關スル一切ノ費用ヲ支辨セシメシ然レトモ前述ノ經費ハ到底國王所屬ノ財產ヨリ生スル利益ノミヲ以テ支辨シ得ヘキニ非サルヲ以テ尙ホ諸種ノ收入即チ沒收シタル物件又ハ冥加金或ハ封建制度ニ依テ國王ノ得ヘキ利益僅少ノ輸出入稅國王ノ私有ニ屬スル市町村ヨリ徵收スル租稅訴訟ニ關シテ得ル所ノ收入犯罪人ニ科シタル罰金等ノ歲入ヲ以テ其不足ヲ補充シ僅ニ國家ノ安寧ヲ維持シ海上ノ防禦ヲナシ兼テ國王ノ必要ナル經費ヲ支辨シタルモ一朝國家ニ非常ノ大事即チ戰爭アルトキハ到底前揭ノ收入ノミニテ國家ノ經費ヲ辨スルヲ得サルヲ以テ臨時ニ國民ノ補助ヲ徵シタリ而シテ其臨時徵發スル所ノ補助中主要ナルモノハ居常國民其自費ヲ以テ組織スル所ノ民兵ノ外尙ホ一定ノ時期間各自ノ所有地ニ住スル小作人ヨリ兵隊ヲ募集スルコト是ナリ此兵役ノ義務ハ古代ヨリ金錢ヲ以テ之ヲ代辨スルコトヲ得ヘキモノニシテ殊ニ外國(即チ殖民地)ハ此義務ニ服セシムルトキハ常ニ金錢ヲ以テ代辨スルコトヲ得セシメタリ斯ル方法ヲ以テ兵隊及其經費ヲ一擧シテ兩ナカラ得ヘキコトヲ按出シタルハペケツト氏ニシテ此民兵外ニ兵役ノ義務ヲ國民ニ負ハシムル制度ハ遠ク後世マテ遺存シタリ即チ英國大革命ノ際クロンウエルカ自己ノ率ユル兵隊ヲ組織シタルモ全ク此民兵外ノ兵ニ在リトス此非常ノ際ニ於テ兵役ノ制後世漸ク進化シテ遂ニ英國憲法ノ發達ト共ニ苟モ國會ノ協贊ヲ經ルニ非

スンハ如何ナル租稅ナモ課スルコト能ハスト云フ一大原則ヲ生スルニ至レリ」

以上述ヘタルカ如キ非常アル時ヲ除ク外普通ノ時ト雖モ世ノ進歩ト共ニ人事漸ク煩雜トナリ從テ經費ヲ增加スルコトハ免レサル所ナリ然ルニ帝室財產ヨリ生スル利益及其他ノ收入ハ一定ノ限度アリテ年々增加スルモノニ非サルヲ以テ到底之ニ應スル能ハサルヨリシテ國王ハ特ニ自己所屬ノ市町ニ租稅ヲ賦課シタリ其方法ハ封建時代ニ行ハレタル所ノ各人ノ階級ニ從テ課稅スルニ在リ例ヘハ一萬圓以上ノ所得金アルモノニ百分ノ二ヲ課シ三萬圓以上ノ所得金アルモノニ百分ノ三ヲ課スルカ如シ即チ其課稅ノ割合ハ同シキモ各階級ニ從テ稅率ヲ異ニスルモノナリ常時已ニ此ノ如シ故ニ非常ノ際ニ在テハ殆ント各人ヲシテ破產セシムル程マテニ徵收シタルコトアリ現ニリチヤード一世ノ時ノ如キ國王所屬ノ市町ハ莫大ノ租稅ヲ課セラレタリ而シテ其徵收シタル莫大ノ租稅ハ如何ナル用途ニ供セラレタルヤト云フニ全ク國王ノ身ヲ償フ爲メニ費シタリ當時ニ於ケル此種ノ租稅ハ一ニ國王ノ隨意ニ出テタルモノナレトモ之ヲ徵收スルニ臨ミテハ頗ル公平ニシテ且精密ノ方法ヲ取リ即チ其租稅ヲ徵





法ノ如ク總テ商取引ヲナスモノニ向テ適用スル國ニ在テハ殊ニ民法ト商法ノ二者ヲ區別スルノ必要アラサルナリ

第四條ニハ商取引ノ定義ニ基テ第一號產物ノ交換販賣ヲ目的トスル取引ヨリ第十一號保險ニ係ル作業及取引ニ至ルマテノ事例ヲ揭ケタリ曰第一產物ノ交換販賣ヲ目的トスル取引第二製造工業及手職業ニ係ル作業及取引第三人及物ノ運送ニ係ル作業及取引第四航漕ニ係ル作業及取引第五建築ニ係ル作業及取引第六銀行營業ニ係ル作業及取引第七流通シ得ヘキ信用證劵ノ發行及流通ニ係ル作業及取引第八商ノ爲メニナシ又ハ受クル倉庫寄託及其他ノ寄託ニ係ル作業及取引第九船舶ノ賣買、賃入、抵當、構造、修繕、艤裝及乘組ニ係ル作業及取引第十取引所ノ取引第十一保險ニ係ル作業及取引ト此ノ如ク列擧スト雖モ此等ノ事柄ヲ除ク外復タ性質上ノ商取引ナシト思惟スルハ大ナル誤謬ナリ此十一例ノ外尙商取引ト稱スルモノ種々アリ而シテ其第四條ノ法文中殊ニトアルハ就中ト云ヘル意義ニシテ之ヲ詳言スレハ本條ノ商取引中ニ包含スヘキモノ許多アリト雖モ其中ニ就キ主要ナルモノハ云々トノ意ナリ今順次前揭ノ事例ニ付

テ説明セン

第一　産物ノ交換販賣ヲ目的トスル取引

販賣トハ物品ト金錢トヲ交易スルヲ云ヒ又交換トハ物品ト物品トヲ交易スルヲ云フ即チ對手相互ニ一箇ノ物品ニ代ユルニ他ノ物品ノ所有權ヲ移轉スルコト是レナリ玆ニ注意スヘキハ交換販賣ヲ目的トスル取引ト云フ文字ナリ例ヘハ予カ日常ノ用ニ供センカ爲メ米麥ヲ買入レ又ハ他ノ物品ヲ以テ之ト交換スルカ如キハ商取引ニ非スト雖モ彼ノ米商等カ之ヲ轉賣スルノ目的ヲ以テ米麥等ヲ買入レ若クハ交換スルカ如キハ所謂商取引ナリ是レ本號ニ於テ特ニ交換販賣ヲ目的トスル取引ト云ヒ以テ單ニ其交換販賣ヲ指シテ商取引ト云フニ非サルヲ明白ニシタルモノナリ然レトモ其交換販賣ノ目的ハ各人各箇ノ無形ナル心理中ニ在ルヲ以テ果シテ如何ナル目的ナリシヤニ付テハ或ハ之カ判斷ニ苦シムコト尠ナシトセス而シテ斯ル場合ニハ其之ヲ買入レ若クハ交換シタル人ノ身分職業又ハ物品ノ性質分量等種々ノ狀況ニ憑リ之ヲ判斷スルノ外ナシ然リ而シテ若シ交換販賣ヲ目的トシタルニ非スシテ單ニ日用ノ爲メニ爲シタル取引ナルトキハ是レ民事上ノ取引ニシテ商取引ニ非サルナリ然レトモ交換販賣ノ目的ニ出テタル取引ハ皆商取引ナルヲ以テ夫ノ鐵物ヲ堀取シテ販賣シ或ハ材木ヲ伐採シテ販賣シ或ハ穀物ヲ精製シテ之ヲ販賣セシカ爲メ器具ヲ購入シ人ヲ傭入ルヽカ如キ取引ハ皆販賣ノ目的ニ出ツルヲ以テ商取引ト云ハサル可カラス而シテ此場合ハ直接ノ轉換ナシト雖モ其豫備事業ナルカ故ニ所謂間接ノ轉換アリトス

第二　製造工業及ヒ手職業ニ係ル作業及ヒ取引

本號ノ製造ナル文字ハ英語ノ(Manufacture)又工業ハ(Industry)手職業ハ(Workmanship)ト其意義ヲ同フス而シテ此ノ如ク其名各異ナレトモ其實ハ皆同一ノ事柄ヲ意義スルモノニシテ其稍異ナリトスル所ハ唯僅ニ其事柄ニ大小廣狹ノ差別アルノミ其性質上決シテ區別アルニ非ス而シテ此ノ如ク同一ノ事柄ヲ列記シタル所以ハ只其名稱ノ如何ニ拘ハラス總テノ工藝ヲ包含セシメンカ爲メニ外ナラサルナリ蓋シ此三箇ノ文字ハ其性質上敢テ區別ナシト雖モ强テ之ヲ區別スレハ其製造トハ原産物ヲ造成シテ人ノ使用ニ適セシムル作用ノ謂ニシテ工

藝ノ部類ニ屬シ又工業トハ器械ヲ設備シ大ナル規模ヲ以テ仕事ヲナスモノヲ云ヒ手職業トハ例ヘハ裁縫ノ如キ手指ヲ以テナス所ノ仕事ヲ云フ要スルニ皆同一ノ事柄ニシテ單ニ工藝ト云ヘハ悉ク之ヲ包含スルヲ得ヘシ胡爲ン故ラニ同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ臚列スルヲ要センヤ況ンヤ草案ニハ各種製造事業及企業トアリテ斯ル無用疑似ノ文字ナキニ於テオヤ凡ソ法文上此ノ如キ種々ノ文字ヲ頻用スルトキハ却テ疑惑ヲ生スルノ弊アリテ毫モ益ナク加之ナラス前述ノ三箇ノ文字ハ法律固有ノ語ニ非スシテ普通日用ノモノナルヲ以テ只普通ノ意義ニ從ヒ工藝ノ一語ヲ用ユルトキハ以テ能ク他ヲ包含スルニ足レリ

又本號ニ所謂取引ト作業ノ區別如何ト云フニ作業トハ英語ノ(Undertaking)ニ該當スルモノニシテ其意義ハ取引ト異ナル所ナク共ニ貨物ノ轉換ヲ目的トスル權利行爲ナリ若シ作業ナル文字ニシテ取引ナル文字ト異ナル意義ヲ有スルモノトセハ本條ノ定義ト相矛盾スルニ至ルヘシ何トナレハ本條ニ於テ商取引ト稱スルモノハ取捌キノ方法ニヨリ貨物ノ轉換ヲナス總テノ權利行爲ヲ云フトアレハ其取引以外ニ於テ又商事ナルモノ存スルノ理ナケレハナリ是ニ由テ推



論スレハ二者ノ間ニ差異ナキコト自ラ瞭然タリ然レトモ若シ强テ二者ノ區別ヲナセハ取引ハ營業ノ本目的タル事業ヲ云ヒ作業ハ其事業ヲ營ム豫備ノ所爲ヲ云フ例ヘハ運送業ニ於テ運送ノ業務ヲ取扱フハ即チ取引ニシテ其取扱ノ爲メニ器具ヲ買入レ又ハ人夫ヲ備入ルヽカ如キハ作業ナリ或ル說ニ依レハ作業トハ取引ノ集合體ナリ即チ取引トハ箇々ノ事業ニシテ之ヲ集合シタル全體ハ作業ナリ例ヘハ銀行事業ニ於テ其爲替金ヲ取扱フ一事務ハ取引ナレトモ行務一切ノ事柄ヲ概括シタルモノ所謂銀行事業ハ即チ作業ナリト然レトモ若シ此解釋ニ從フトキハ甚タ不都合ノ結果ヲ生スルニ至ルヘシ如何トナレハ商取引ニハ必ス常ニ二人ノ對手アルヲ要スルモノニシテ對手ナケレハ取引ノ存在スル理ナシ然ルニ銀行事業ニ於ケル種々ノ事業ヲ集合シタル無形的ノモノ(或說ノ所謂作業)ニハ對手即チ權利者義務者ナル思想アルコトナシ元來商取引ハ素ト一ノ契約ナルヲ以テ若シ對手ノ一方ニ於テ破約スルトキハ他ノ對手ヨリ訴求セラレ法律ノ制裁ヲ受クルモノナラサル可カラサルナリ故ニ此論者ノ解釋ハ到底確的ノモノトシテ採用スルコト能ハサルヘシ況ンヤ此ノ如キ權利者義

務者ノ思想ヲ有セサル文字ノ如キ之ヲ法律ニ規定スルノ要ナキニ於テナヤ

第三　人及物ノ運送ニ係ル作業及取引

本號ハ之ヲ分析スレハ人ノ運送ニ係ル作業及ヒ取引ト物ノ運送ニ係ル作業及ヒ取引トノ二種アリテ共ニ勞力ニ關スル事柄ナリ凡ソ運送ナルモノヽ商賣上ニ必要缺ク可カラサルハ今更喋々ヲ要セサル所ナリ蓋シ物品轉換ノ事業ハ其極メテ狹小ナル範圍ヲ除クノ外皆悉ク海陸ノ運輸ニ賴ラサルハナシ即チ鐵道會社、運輸會社、商船會社、郵船會社ノ如キハ皆此營業ヲナスモノナリ而シテ此等ノ事業ハ何レモ直接ニ貨物ノ轉換ヲナスモノニ非サレトモ間接ニ之ヲ轉換スルモノナルヲ以テ各國ノ商法中之ヲ商取引トナサヽルハナシ然レトモ夫ノ農夫等カ自用ノ車又ハ馬ヲ使用シテ收穫物若クハ肥料等ヲ運搬スルカ如キハ是唯、物品ノ所在地ヲ換ユルノミニテ直接ニモ間接ニモ法律ノ所謂物品ノ轉換ニ非サレハ之ヲ稱シテ商取引ト云フヲ得ス又勞力ニ對スル賃銀ヲ得ルコトノヨリ目的トシテ運送ニ從事スルモノ例ヘハ人力車夫カ他ヨリ車ヲ借入レテ乘客ヨリ賃錢ヲ得ルカ如キ又人足カ荷車ヲ借入レテ轉居者ノ荷物ヲ運搬スルカ如





キハ商取引ニ非サルナリ

第四　航漕ニ係ル作業及ヒ取引

航漕トハ英語ノ(Shipping)ニシテ單ニ船舶ヲ以テ運輸スルノ謂ナリ而シテ前號ト同シク間接ニ貨物ノ轉換ヲナシ利益ヲ得ルヲ目的トスルモノニシテ但其異ナル所ハ前號ハ運輸ヲナス點ヨリ觀察シ其海上ニ於ケルト陸上ニ於ケルトヲ問ハス總テノ運送業ヲ指定シタルモノナレトモ本號ハ唯、海上ノ運輸ノミヲ指スニ在リ故ニ本號ハ前號ノ規定中ニ包含セラルヽヲ以テ特ニ揭示スルノ要ナトシ雖モ畢竟事例ヲ示スニ過キサレハ敢テ其是非ヲ論スルニ足ラサルナリ而シテ本號モ其作業及取引ニ屬スルモノヲ規定シタルモノナルカ故ニ彼ノ漁夫カ釣網スルカ爲メ漁舟ヲ漕キ出スカ如キ或ハ賃銀ヲ得ンカ爲メ他ヨリ船ヲ借入レテ人若クハ物ノ運輸ニ從事スルカ如キハ本號ニ入ルヘキモノニ非サルナリ或人ノ說ニ云ク本號ニ所謂航漕トハ總テ船舶ニ乘シテ渡航スルコトノミニ限ルヲ以テ學術研究ノ爲メ又ハ北海探檢ノ目的ニテ船舶ヲ使用スルカ如キハ假令貨物運輸ノ爲メニ使用スルモノニ非スト雖モ猶商取引ナリト若シ此解釋

サシテ正確ナ得タルモノトセハ正ニ商取引ノ定義ト相牴觸スヘシ何トナレハ學術研究ノ爲メ又ハ北海探檢ノ爲メ航海ヲ企ツルカ如キハ固ヨリ其意思金錢上ノ利益ヲ計ルニ非ス又產物商品有價證劵ノ轉換ヲナサント期スルニ非サレハナリ果シテ然ラハ本條規定ノ定義ヲ說明センカ爲メニ揭ケタル事例曾テ其用ヲナサス却テ其定義ヲ破碎スルノ結果ヲ生スヘシ又若シ其學術研究ノ爲メ海洋ニ航行スルコトヲ以テ商取引ナリトセンカ娛樂ノ爲メ小舟ヲ浮ヘテ遊漁スルモ亦商取引トナラン論シテ此ニ至ラハ商取引ト自餘ノ取引トヲ區別スルノ境界將タ何クニ存セン故ニ或人ノ說ハ到底取ルニ足ラサルナリ

第五　建築ニ係ル作業及ヒ取引

建築トハ英語ノ(Building)ニ該當スル文字ニシテ家屋ノ構造修繕其他築港架橋等ノ如キ事業ヲ云フ即チ土木會社又ハ建築會社ノナス所ノ事業ハ皆是ナリ而シテ此等ハ主トシテ勞力ニ關シ間接ニ貨物ノ轉換ヲ助クルモノナリ

第六　銀行營業ニ係ル作業及ヒ取引

銀行營業トハ英語ノ(Banking)ニ該當スルモノニシテ專ラ貨幣其他有價證劵ノ轉



## 確認シタル場合

古來ヨリノ法語ニ事後ノ確認ハ事前ノ委任ニ均シト云フコトアリ代理權ナクシテ行フタル所爲ト雖モ後ニ至リ本人之ヲ追認スル時ハ始ニ溯リテ代理權アリタルモノトスルハ代理法ノ原則ナリ但シ追認スルト否トハ本人ノ自由ナルカ故ニ追認ヲ認ムルト否トモ亦第三者即チ代理人ト取引シタル者ノ自由ナリ換言スレハ代理權ナキ代理人ト取引シタル者ハ本人ノ追認アルモ尙ホ追認ナシトシ代理人ニ係ルコトヲ得ルナリ蓋シ法律カ追認ノ原則ヲ認メタルハ法律ノ精神可及的人々ノ地位ノ變更ヲ避クルニ在レハナリ代理人代理權アリト信シテ本人ノ爲メニ或ル事ヲ行ヒ第三者モ亦代理人ニ代理權アリト信シテ事ニ當リシ場合ニ本人ハ追認スル方自己ノ利益ナリト信シテ追認ヲ爲シ第三者モ亦本人ノ追認ヲ認ムル方自己ノ利益ト信シテ本人ヲ對手人トスル時ハ本人ニハ別段損失ナク代理人ト第三者トハ依然最初ノ地位ニ在ルヲ得ルモノナレハ是レ程公益ニ協フタルコトハアラサルヘシ追認ノ原則ノ理由以上ノ如シトセ

ハ獨リ契約ノ場合ノミナラス私犯ノ場合ニ於テモ同一ノ理由存在セサルヘカラス此ニ於テカ私犯法ニ於テモ亦追認ノ原則ヲ適用スルニ至レリ然レトモ此原則ハ元ト當事者ノ地位ノ變更ヲ避クルニ在レハ隨テ追認ヲ有效ナラシムルニ數箇ノ條件ヲ要ス(一)追認セラルヘキ行爲ハ其初メ追認者ノ爲ニ行ハレタルモノナラサルヘカラス(二)追認セラルヘキ行爲ノ行ハレシ當時ニ於テ追認者存在セサルヘカラス(三)追認者ハ事情ヲ熟知シテ追認ヲ爲サヽルヘカラス(四)追認者ハ全部ニ付キ追認ヲ爲サヽルヘカラス自己ニ利益ナル部分ノミヲ追認スルコトヲ得ス

追認ノ場合ハ元ト代理權ナクシテ行フタルモノナレハ本節他人ノ所爲ニ就キ責ニ任セスト云フ原則ノ例外ナルカ如シト雖モ元來責任ナキ者カ自ラ進ンテ責任ヲ負擔スル場合ナルカ故ニ實際ハ例外ニアラサルナリ

## 第三項　委任若クハ追認シタル事項其者ニアラサルモ委任事項ノ執行範圍内ニ属スルモノト看做ヘキ場合

此場合ニ於テモ亦本人其責ニ任ス然レトモ本人代理人ノ關係アレハ何時ニテモ然ルニアラスシテ獨リ雇主ト雇人ノ關係アル場合ニノミ限レリ「バーホック」對英蘭株式銀行ノ事件ニ於テ判事ウホルス氏カ別段雇主ニ於テ命令ヲ爲シタリトノ證左ナキモ雇人カ職務ノ執行中雇主ノタメニ爲シタル私犯ニ就テハ雇主其責ニ任セサル可カラスト云ヘルハ同一ノ原則ヲ言現ハシタルニ過キス余ハ先ツ雇人トハ如何ナル者ナルカヲ明カニシ次ニ委任若クハ追認シタルニアラスシテ委任事項ノ執行範圍内ニ属スルト認ムヘキ場合トハ如何ナル場合ナルカヲ示シ終リニ被害者加害者共ニ同一雇主ノ雇人ナル時ハ前掲原則ノ適用ニ如何ナル差異ヲ生スルカヲ說カントス

第一　雇主雇人ノ關係如何ニ付キ說明セサルヘカラス　他人ノ指揮監督ヲ受ケテ事ヲ行フモノアルトキハ其指揮督監ヲナスモノト又之ヲ受クルモノトノ間ニ雇主ト雇人ノ關係成立ス故ニ豫メ或ル所爲ヲナスヘキコトヲ命令スル

ノミナラス又時ニ臨ンテ其執行方法ヲ指揮監督シ又ハ監督シ得ルモノ換言セハ監督權ヲ有スルモノヲ雇主ト云ヒ其命セラレタル方法ニ付テ指揮監督ヲ受クルモノヲ雇人ト云フ之ニ反シテ他人ノ命令若クハ委任ニ基キテ或ル事ヲ行フモノナレトモ其行フニ當リテヤ少シモ指揮監督ヲ受ケスシテ全ク自己ノ自由ニ處置スルコトヲ得ルモノ即チ請負人ナルモノハ茲ニ所謂雇人ニハアラス例ヘハ建築ヲ業トスルモノ一ノ柵ヲ建造スルコトヲ依頼セラレタル場合ニ於テ其建築ノ方法ハ全ク工業者ノ存意ニ依リテ自由ニ經營スルコトヲ得或ハ左ヨリシ或ハ右ヨリスルモ敢テ依頼人ノ爲メニ容喙セラルヽニ及ハスンハ其人ハ即チ請負人ニシテ雇主雇人ノ關係ハ決シテ成立セサルナリ

又雇人ノ雇人ハ雇主ノ雇人ニアラス雇人ハ雇主ヨリ委任セラレタル事業ニ付テ自ラ經營スルコトヲ欲セスシテ之ヲ第三者ニ復任シテ果行セシムルコトアリ此場合ニ於テハ雇主ト第三者トノ間ニハ何等ノ關係ヲモ生スルモノニアラス詳言セハ雇主ト雇人ノ名目ヲ下スコトヲ得サルナリ故ニ雇人ノ雇人タル者ノ所爲ニ就テハ雇主其責ニ任セス然レトモ茲ニ區別セサルヘカラサルハ雇人





ナルモノ雇主ヨリ第三者ニ復任スルコトヲ命令若クハ委任セラレタル時ハ第三者ト雇主トノ間ニ於テ雇主雇人ノ關係成立スルナリ又本來ハ自身ノ雇人ニアラサルモ時ニ臨ンテ特別ノ指揮ヲ爲シ事ニ干渉シタル場合ニ於テ其指揮シ又ハ干渉ヲナシタル事項ノミニ付テハ雇主雇人ノ關係成立シ指揮者其責ヲ免ルヽ能ハス例ヘハ馬車會社ヨリ馭者附ノ馬車ヲ借入タリトセヨ此場合ニ於テ馭者ハ馬車會社ノ雇人ニシテ借主ノ雇人ニアラス故ニ馭者ノ不注意ヨリ他人ニ損害ヲ及ホシタルトキハ雇主ナル馬車會社ハ其責ニ任セサルヘカラストハ通常ノ斷案ナリ去リナカラ借主ニシテ特ニ馭者ヲ指揮シテ劇シク馳驅セシメ爲メニ他人ニ損害ヲ及ホシタル場合ニ於テハ馭者ハ借主ノ監督ノ下ニアルヲ以テ借主ト馭者トノ間ニ雇主雇人ノ關係ヲ生シ其私犯ノ責任ハ會社ノ負フ所ニアラスシテ實ニ借主ノ負フ所ナラサルヘカラス故ニ元來馭者ハ會社ノ雇人ナルモ一時借主ノ監督ノ爲メニ借主ハ雇主ノ地位ニ立ツモノナリ又本來ハ甲ノ雇人ニシテ賃錢及ヒ報酬ハ依然甲ヨリ受ケ居ル場合ト雖モ時ニ臨ミ事ニ當リテ乙ノ雇人トナルコトアリ例ヘハ荷積請負人カ荷積ヲナスニ際シテ船長ニ

依頼シテ水夫ヲ借受ケ使役シタリトセヨ此場合ニ於テ水夫ハ船長船主ノ雇人ニシテ亦船主ヨリ給料ヲ受クルモ此場合ニ於ケル荷積ノ事業ニ關シテハ船長若クハ船主ノ雇人ニアラスシテ全ク荷積請負人ノ雇人トナルモノナリ又一例ヲ擧クレハ鑛山ノ持主其坑中ニ「シヤフト」ヲ穿タンカ爲メニ該事業ヲ或ルモノニ請負ハシメ而シテ之ニ必要ナル機械及ヒ技師ハ從來己レノ雇役使用シタルモノヲ貸與ヘタリトセヨ此ノ場合ニ於テ技師ハ鑛山持主ヨリ給料ヲ受ケテ通常ノ雇人タルコトハ疑ナシ去レトモ「シヤフト」ヲ穿ツコトニ關シテハ特ニ持主ノ手ヲ離レテ全ク請負人ノ指揮ノ下ニアルヲ以テ此際ニ於テハ持主ノ雇人ト云フコト能ハス從テ技師ノナシタル私犯ハ請負人ノ負擔スル所ニシテ持主ノ負擔ニハアラサルナリ

茲ニ所謂指揮監督ストハ必スシモ目前ニ於テ直接ニナスヲ必要トナサヽルナリ雇主ト雇人ノ關係ヲ成立セシムルニハ一方ニ差圖ヲ受ケタル時差圖ニ從フヘキ義務アレハ則チ足レリ例ヘハ船長ハ船主ノ雇人ナリ一旦航海ヲ始ムルトキハ其消息ヲ絶ツコト數月ニ渉ルモ亦陸地ヲ距ツル萬里ノ波濤外ニアルモ決





シテ船主ハ船長ノ監督權ヲ失ハサルヲ以テ假令航海中ニナシタル私犯ト雖モ其所爲タル雇人ノナシタルモノトシテ船主ハ其責任ヲ免カルヽコト能ハサルナリ

第二　實際委任シ若シクハ命令シタル事項ニアラサルモ委任事項ノ執行範圍内ニ於テナシタルト看做スヘキ場合トハ如何ナル場合ナルカ乞フ左ノ四段ニ區別シテ説明セン

〔一〕　委任事項ヲ執行スルニ當リ相當ノ注意ヲ用ヰタル場合

〔二〕　委任事項ヲ執行スルニ當リ相當ノ注意ヲ缺キタル場合

〔三〕　委任事項ヲ執行スルニ當リ其權限ヲ越ヘ若クハ錯リタリ場合

〔四〕　委任事項ヲ執行スルニ當リ故意ニ基キテ他人ニ損害ヲ及ホシタル場合

一　委任事項ヲ執行スルニ當リ相當ノ注意ヲ用ヰタル場合

雇人カ委任セラレタル事項ヲナスニ際シ相當ノ注意ヲ用ヰテ尚ホ損害ノ生シタル時ハ其損害タルヲ委任事項ノ當然ノ結果ト稱スヘキカ故ニ雇主タル者其

結果ノ生スルコトヲ欲セス若クハ之ヲ避ケント欲シタレハトテ其責ヲ免ルヽ能ハス是レ畢竟委任ノ自然ノ結果ナルカ爲メナレハ他人ノ所爲ニ付キ責ニ任スル所以ニアラサルナリ

二　委任事項ヲ執行スルニ當リ相當ノ注意ヲ缺キタル場合

此ノ場合ニ於テハ其責任何時ニテモ雇主ニ生スルモノニアラス然シナカラ責任雇主ニ生スル場合ト雖モ尙ホ雇人モ亦不注意過失アルカ故ニ無論其責ニ任セサル可カラサルコトハ豫メ記憶セサルヘカラス而シテ雇主ニ責任ノ生スルト生セサルトヲ判定セントセハ雇人ニ不注意過失ノアリタル際雇人ハ雇主ノ所用ヲナシツヽアリシヤ否ヤヲ知ラサルヘカラス即チ其所爲タル果シテ委任事項ノ執行中ニアリシトキハ雇主其責ニ任シ若シ又雇人ハ任意ニ自己ノ所用執行中ナリシトキハ雇人獨リ其責ニ任シテ雇主ハ何等ノ義務ヲ負ハサルモノトス例ヘハ雇人ノ人ヲ傷クルヤ自己ノ用ヲ達スル爲メ主人ノ車ヲ曳キ居リシ際ナレハ雇主ニ責任ナキモ主人ノ用ヲ達スル爲メ主人ノ車ヲ曳キ居リシ際ナレハ雇主責ニ任セサルヘカラス





ンヤ其他ニ於テヲヤ是レ前後其時ヲ同フセサレハ勢自ラ異ナラサルヲ得サルナリ

保護干渉ノ政略ハ近年諸國ニ於テ頗ル勢力ヲ得獨逸ニ於テハ殊ニ甚シトス就中製糖業蒸溜酒製造業ノ如キ大營業ハ尤モ保護干渉ヲ受ケ殆ント政府自ラ營業スルノ狀ヲ呈シ一般ノ經濟及ヒ教育等非常ノ干渉ヲ試ミ生命保險及ヒ不測事件ノ保險ノ如キハ强ユルニ法律ヲ以テスルニ至レリ近來各國ノ干渉ニ傾キタルハ比々皆然ルモ此ノ如キ干渉ハ古今各國ノ史上ニ照シ未タ曾テ見サル所ナリ然レトモ是等ノ政略ハ尙ホ試驗中ニアリテ未タ俄カニ其結果ヲ豫言シ其得失ヲ斷定スル能ハス吾人ハ宜シク此大膽ナル政略ノ進行ニ注意シ其結果ノ如何ヲ窺フヘキノミ

北米合衆國ハ有名ナル保護國ナルモ時ニ或ハ冷熱ノ差ナキヲ得ス近年ニ至リ漸ク其熱度ヲ昇騰シ外國物產ニ對シ輸入稅ヲ增スノミナラス憲法違背ノ嫌アルニ拘ハラス各州間ニ保護政策ヲ行ハントスルノ勢アリ則チ西曆千八百八十九年中他州ヨリ肉類ノ輸入ヲ禁スルノ法案數州ノ議會ニ提出セラレ其二州ニ

於テハ可決セラレテ州法トナレリ此ノ如キハ合衆國結ヲ以テ一國ヲ爲スノ國体精神ニ背キ合衆主義ノ一部分ハ既ニ廢滅シタルモノト云ハサルヲ得ス抑〻合衆主義ナルモノハ合衆國ノ由テ以テ立ツ所ナリ然ルニ今哉狹隘無謀ナル經濟主義ヲ採リ此根源ヲ亂サントス何ソ夫レ思ハサルノ甚シキ哉彼ノ佛國カ外品ヲ排斥シテ以テ公用ニ使用セサルヲ議決シ吾人ヲシテ佛國ハ發狂スルニ非サル哉ノ疑ヲ起サシムルニ至ル然レトモ佛國ハ只外國産ニ對スルノ方策ニ止リ且ツ其國情ノ趨勢夫レ或ハ恕スル所アルモ合衆國ハ則チ然ラス其國中各部ニシテ相互間ノ貿易ヲ斷タントスルノ形跡アルハ其狂タル遙カニ佛國ニ超ユルモノアリ嗚呼堂々タル大國ニシテ區々タル一偶ノ利益ニ泥ミ眼ヲ大局ニ注クヲ亡ルヽコト一ニ茲ニ至ル歟米、佛ノ爲メニ最モ惜マサルヲ得サルナリ

此ノ如ク近來歐米諸國ニ於テ保護干渉ノ行ハルヽ既ニ其極端ニ趨セ吾人ヲシテ實ニ奇異ノ思ヲ爲サシムルニ拘ハラス茲ニ尙一層ノ甚シキモノアリ今合衆國西北ノ一大州ナルミニソタノ立法院ニ於テ爲ス所ヲ見ルニ穀物ノ秤量、檢査其他ノ取扱、穀物食庫ノ建築、位置、鐵道列車ノ供給、車避ケノ設置、運送賃、蝗害ニ罹





リタル者ニ對スル種子ノ貸與、農産品評會補助、農民ヲシテ負債ノ辨償ヲ容易ナラシムルノ方法、「パタ」製造ノ保護、家畜ノ烙印、傳染病等ニ於ケル詳細ナル取扱及保護、材木ニ關スル取扱、筏ヲ流スニ材木一本毎ニ官吏ノ見認メヲ要スルカ如キ方法、又衛生事業ニ於テハ開業免許ハ勿論醫業實施ニ關スル詳細ナル監督、藥舖及ヒ其技手ノ檢査監督、齒科ニ係ル事項等逐一詳細ナル方法ヲ設ケ一々其業務ヲ指定シ殆ント其煩ニ堪ヘサラシム其他麥粉製造ニ詳細ナル方法ヲ設ケ通過稅ヲ賦課シ又如何ナル場合ニ於テモ州民ハ其隣家ノ飼犬ヲ殺スコトヲ得ス鐵道ノ停車場ハ如何ニ建築スヘシ等實ニ繁雜ナル規定ヲナシ勞力問題ニ於テハ勞力時間、婦女少年ノ使用ニ係ル規定、瀛車ノ運轉手及ヒ火夫ハ引續キ何時間以上勞働セシム可カラス等實ニ非常ナル干渉主義ノ規定アリ又教育及ヒ風紀ニ關スル事件ニ付テハ教課書ノ指定ハ勿論寺院ニ於テ施行スル福引ニ賽ヲ用ユルヲ禁シ犯ス者ハ嚴罰ニ處シ一切ノ籤引ヲ禁シ犯スモノハ之ヲ警察罪ニ問ヒ而シテ又男女相携ラ氷辷リノ戲ヲ演シ男女同時ニ「リンキフロウ」遊戲ノ場所ノ名)ニ出席スルヲ禁シ州廳ノ許可ヲ得サレハ何人タリトモ醉氣ヲ催ス酒類ヲ用

ユヘカラス又一切ノ酒類ヲ購買スルヲ得ストノ原按ヲ提出セシト雖モ是等ハ終ニ敗レテ否決セラレタリ實ニ甚シキ干渉ニ非スヤ元來合衆國ハ自由ヲ唱ヘテ國ヲ建テ自由ヲ以テ天下ニ誇ルト雖モ其實貿易ハ常ニ干渉束縛ヲ受ケ今又教育人事ニ於テ此ノ如キ干渉ヲ受ケ恬トシテ自ラ悟ラサルモノヽ如キハ豈ニ復奇中ノ奇ニ非スヤ然レトモ合衆國ハ東北諸州ニ於テハ人文ノ發達未タ故國ノ如クナルヲ得ス表面自由ヲ唱フト雖モ其實況ニ至テハ或ハ前陳數條ノ如キ法規ヲ設クルノ必要アルヤ未タ知ル可カラス好シ其必要アルモ此ノ如キハ實ニ極端ニ趨スルノ甚シキモノニシテ殊ニ其大部分ハ西暦千八百八十五年僅カニ六十日ヲ期シテ開會シタル議會ノ決議ニ係ルモノナレハ未タ以テ熟議ヲ盡シタリト云フヲ得ス或ハ深謀遠慮ヲ缺クモノナキヲ保セサルナリ

方今通信運輸ノ便大ニ開ケ國際貿易ノ關係年ニ擴張シ月ニ深密ニシテ波濤萬里ノ外ニ在ル邦國ト雖モ殆ント比隣ノ如ク四海兄弟一視同仁ノ世將ニ近キニアルノ勢アリト雖モ自ラ求心離心ノ兩勢ハ常ニ其中ニ存シ却テ一張一弛ノ理其宜キヲ制シ世運暴進ノ弊ヲ防キ以テ彼是調和ノ功ヲ奏スルハ造化ノ配劑實





ニ巧妙ナリト雖モ時アツテ乎人爲ノ加ハルモノアリテ大ニ其美ヲ損スルアリ豈ニ洪歎ノ至リニ非スヤ曉近ニ至リ保護干渉ノ主義再ヒ其氣焰ヲ吐タ所以ノモノハ西暦千八百六十年以來四海ノ情況一張ヲ自由ノ方向ニ傾キタリシ反動ニ外ナラサレハ之ヲ自然ノ調合ニ任シ傍ラ人爲ヲ以テ誘導制御スルハ敢テ害ナシト雖モ近時歐米諸國ノ爲ス所ヲ見ルニ實ニ極端ニ趨リ殆ント陳腐恕スヘカラサルノ植民主義ヲ再演シ進ンテ外國人ノ移住ハ內國財源發達ノ利益ヲ外人ニ分配スルヲ以テ自國ノ利益ニアラサルトノ狹隘ナル觀測ヲ顯出スルニ至レリ是レ實ニ西暦千八百六十年以來世運一張ノ反彈ニシテ競爭ノ餘弊終ニ一強ノ勢ヲ釀成シ而シテ米國東北諸州ノ如キハ稍故國ノ體ヲ備ヘ昔日ト其趣キヲ異ニスルノ致ス所ナリ然リト雖モ人爲ノ以テ之ニ加ハリ大ニ反動收縮ノ力ヲ强大ナラシメタルハ掩フヘカラサルノ事實ナリ蓋シ世人ノ中庸ヲ守リ能ハサルハ敢テ酷タ責ルニ足ラスト雖モ凡ソ是等ノ弊害ハ畢竟學理ニ暗タ古今ノ經歷ニ通セス其視線只一隅ニ偏シ大局ニ渉ラサルニ坐スルモノトス經濟ノ理以テ講究セスンハアルヘカラス魯西亞ノ如キモ亦諸國ノ風潮ニ感染シ外人追

放ノ策ヲ取リ第一著ニ猶太人追放ノ目的ヲ以テ之ヲ虐待シ次ニ外國人ニシテ製造及ヒ礦山事業經營ノ爲メ魯領ニ移住スルヲ忌ミ終ニ魯國領内ニ於テ外人ノ土地ヲ所有スルヲ得セシメス大ニ外人ニ不便ヲ與ヘタリ然ルニ獨逸モ亦之ニ倣ヒポーランド人ハ天主教ヲ奉シ且ツ「スラフチニック」種族ナルヲ名義トシ彼等ヲ其東北地方ヨリ追放セリ然レトモ其實ポーランド人ハ獨逸人ヨリ民度高ク且ツ勞力ニ耐ユルノ風アルヲ以テ獨逸ノ勞力者大ニ其競爭ヲ忌ムニ由リ此ノ如キ口實ヲ以テ此ノ處置ニ出タルニ外ナラス北米合衆國モ亦其尤ニ倣ヒ清國人ハ「キリスト」教ヲ奉セス民度甚タ低ク風俗墮醜ナルト云フヲ理由トシ其移住ヲ忌ミ種々ノ不便ヲ彼等ニ與ヘ專ラ之ヲ驅除スルノ方策ヲ講セリ然レトモ其實ハ清國人ノ能ク勞働ニ堪ヘ僅少ノ勞銀ニ甘ンシテ米國勞働者ト競爭スルニ由ル其他濠州植民地ニ於テモ亦同樣ノ方策ヲ取ルノ勢ヲ顯出セリ既ニ事情此ノ如クナルヲ以テ清國モ亦恐クハ他日外人ヲ忌避スルノ感情ヲ起シ之レカ復讐ヲナスノ勢ニ至ルヘシ而シテ佛國ハ西曆千八百八十八年一命令ヲ發シテ外人ニシテ佛國領内ニ移住セントスルモノハ登記ヲ受ケ其許可ヲ經ヘキモ





ノトセリ是其内意ハ伊、白兩國人民ノ移住ヲ防キ從來該兩國ノ人民ニハ内地ニ於テ營業ヲ爲スコトヲ許シ其他ノ國人ニハ之ヲ許サス更ニ進ンテ外國人ニシテ佛國ヘ移住シ勞銀ヲ受クル者ニハ一種特別ノ税ヲ課セント欲スルモノニ似タリ凡ソ是等ノ外人ハ合衆國ノ清人ニ於ケル歐洲東南部ノ猶太人ニ於ケルカ如ク敢テ其風俗民度ヲ異ニセス同シク歐洲人種ニシテ其交際間敢テ支牾ノ嫌ナキモノナレハ其能ク佛國ノ法律ヲ奉シ納税ノ義務ヲ怠ラサル以上ハ社會上ニ風紀上ニ毫モ忌避スヘキ所ナカルヘシト雖モ佛民ト同等ノ待遇ヲ得サルハ實ニ已ムヲ得サル所ナリ只外人ノ佛領ニアリテ佛民ト同權ヲ得ル能ハサルモノハ外人ハ佛國ノ兵役ニ從フコトヲ得サルノ一點ニアルノミ又伊太里ハ別ニ外人驅除ノ法規ヲ設ケスト雖モ其北部人民ノ感情ハ是亦同樣ノ關係ヲ以テ常ニ佛人ヲ放逐センコトヲ欲シ時アッテ乎腕力ヲ濫用シテ其目的ヲ達スルコトアリト云フ瑞西ノ如キハ其部落法ヲ以テ毫モ部落政治ニ關係セサル外國人ニ重税ヲ課シ英國ニ於テモ猶太人勞力者ノ競爭ヲ受ケ彼等ノ勞力ニ向制テ限ヲ設クルノ必要ヲ說クモノアリテ頗ル勢力ヲ有スルニ至ル夫レ諸國ニ於テ外人

ヲ忌避スルノ情ヲ示セシコト斯ノ如ク吾人ハシテ復タ中世ノ暗黒世界ヲ見ルノ想ヒヲナサシム然レトモ是レ一時ノ反動ノミ素ヨリ永久ノ顯象ニ非サルナリ抑〻西暦千八百七十八年以來歐洲ニ於テ外國ノ競爭防禦策ニ注意シ之カ萌芽ヲ發シタルハ曩キニ六十年英佛貿易條約ヨリ起リシ干渉解除ノ反動ニシテ能タ世運ノ進歩上一張一弛ノ理ヲ示スモノナリ豈ニ之ヲ怪ムニ足ランヤ而シテ諸國一旦此攻略ヲ取ルニ當テヤ一國之ヲ行ヘハ他國之ニ報復シ一擊アレハ反擊之ニ伴ヒ殆ント其止マル所ヲ知ラス到底其極度ニ達セスンハ迷夢ヲ開タコト能ハス然レトモ是レ素ヨリ自然ノ理ニ適合スルモノニ非スシテ只一時ノ變ヲ示スモノナレハ早晩正路ニ復歸スルハ多辯ヲ要セスシテ明カナリ曩キニ澳國ハ率先シテ干渉主義ヲ主張シ則チ西暦千八百七十八年以前ヨリ大陸諸國中ニ成立セシ國際貿易ノ同盟ヲ破リ之ヲ實地ニ施行セシニ方今ニ至リ最モ其結果ニ苦ミ關税ノ負擔高ハ一人ニ付一[シリング]八[ペンス]ヨリ三[シリング]七[ペンス]ニ進ミ外國貿易ハ輸出入共ニ減少シ內國消費税ハ一人ニ付三[シリング]ヨリ六[シリング]八[ペンス]ニ增加シ西暦千八百七十七年ヨリ八十八年マテハ墺國ヨ





ヲ御讀ミニナツタ方モアリマセウガアノ中ニモ英吉利ト諸外國間トノ貿易ニ於テ貨物ノ輸入ガ多クテ輸出ガ少クテ不平均デアル、夫ガ爲ニ外國爲替相場ハ常ニ英吉利ノ不利益ニナツテ居ルベキデアル、處ガ色々ノ事情デ或ハ外國ニ貸金ヲシテ居ル其利子ノ返ル爲トカ等ニテ却テ利益ナルコノ貨物輸出入ノ不平均ノ爲ニ生スル不利益ヲ補フ重ナル原因ノ中ニ運賃ノ揚リ高カアルコノ揚リ高デ以テ爲替ガ實際不利益ナルベキヲ利益ニナツテ居ルト云フコトヲ背イテアツタヤウニ覺エテ居リマス、其位盛デアリマス、所ガ日本ノ今ノ外國航海トイフモノハ極ク微々タルモノデアツテ漸ク今申シマシタ通リ貨物ノ輸出入高ノ一割位シカ自分ノ國ノ船舶ヲ使用シテ居ラヌ、即チ自分ノ國デ製造シタ物ヲ一割位シカ自分ノ國ノ船ニ積込ンデ居ラヌ、其一割六厘ト云フモノモ漸ク支那ノ沿海朝鮮ノ近海ニ日本ノ船ガ徘徊テ居テ運搬スル位ノ有樣デアリマシテ遠ク外國ニ日本ノ航路ハ開キテ居ルト云フコトハマダ〳〵至ラヌノデアリマス、二年程前デゴザリマシタカパナマノ堀割開鑿一件カ失敗シテ夫カラニカラガアヲ開鑿スル話カ起リマシタ、其時一朝ニカラガアノ堀割ガ通ルヤウニナツタナ

ラバ日本ハ亞米利加ト南洋諸島トノ間ニ立ツテ必要ナル地位ニナル、必ズ通リ道ニナル東洋ノ商業ノ中心ニナルトイフ議論ガアツテ其時ニ非常ニ日本ノ人氣モ盛ニ立テ居リマシタ、今ニモ航路ガ開ケルヤウニ言ツテ居リマシタガ併シ日本人ハ何時モ人氣ガ立ツヲ騷立ツテ少シ熱ガ冷メルト忘レテ仕舞フ今デハニカラガアノ話ハ別ニスル人モナシ夢ニ見ル人モアリマセヌ、併シ堀割ガ落成セヌデモ日本ノ地位ヲバ東洋ニ於テ商業ノ中心トナサナケレバナリマセヌ、今日ニテハ南洋諸島印度洋諸島カラ歐羅巴ニ土産製造用ノ原料ヲ送ルノニ歐羅巴ノ方ヲ通ツテ居リマスケレドモ是レカラ先キニカラガアハ假令落成シナクテモ日本ヲ通ツテ亞米利加ヲ通ツテ歐羅巴ニ往ク方ガ盛ニナルギヤラウト思ヒマス、サウスル段ニナレバ日本ハ商業ノ中心デアル、其中心デアツテ商業ノ中心ノ國トシテ仕事ガ出來ル覺悟ヲシテ居ラヌノハ實ニ愚ノ至リデアロウト考ル、夫レデ今日ノ場合ハ右ノ經濟上ノ話カラ是非航路ヲ開カナケレバナラヌ、即チ一番始メニ日本ノ物産ノ輸出ヲ奬勵スル爲ニ外國ヘ航路ヲ開クコトガ一ノ必要、夫カラ其次ニ今日本ノ人ガ内ニ居ツテ大キナコトバカリ云ツテ居ルケ





レドモ外ヘ出テ仕事ヲスルコトハ何ニモ出來ヌ、何處ノ國ヲ屬地ニスレバ宜イ、何處ヘ殖民スレバ宜イト、新聞ニ書キ雜誌ニ載セ演説ヲシテ、自分デハシナイ、經濟學者カ何カヽ唯ダ頻ニ論シテ居ル勢デアル、併シサウ云フコトデナク必ズ益ト盛ニ出掛ケナケレバナラヌ、東京ノ法律學校ニ出テ居ル人ガ非常ニ多イガ此人達ハ卒業シテカラ何ヲスルカ實ニ食道ガナイ代言士ニナラウカト云ツタ所ガ試驗ノ時抔ニハ非常ナ人數デ思ウヤウニハ往カヌ詰リ不生産ノ unproductive labour ト云フモノバカリ澤山ニナツテ居リマス、夫デ諸君ハ必ズ其日本ニ利益ノナイ働ヲセズシテ外國ニ出掛ケナクチヤナラヌ、出掛ケナクチヤナラヌケレドモ諸君ハ筏ニ乘ラナケレバ海ニ浮ブコトハ出來ヌ夫ハ即チ我郵船ガ外國ニ航路ヲ開カナケレバナラヌコトデ(請フ隗ヨリ始メヨト呼ブ者アリ)僕ハ始メテ來テ其經驗ヲ諸君ニ語スルデアル夫カラシテ今述ヘタ經濟ノ利益上カラシテ航路ヲ盛ニシナクレバナラヌ、斯ウ云フ三個條アツテ是非日本ノ船舶ハ航路ヲ外國ニ盛ニ開カナケレバナラヌ譯デアリマス、

所デ今ノ實際ハドウデアルカト思フニ今日本カラ外國ヘ航路ヲ開イテ居ルノ

ハ郵船會社ノミデゴザリマス、郵船會社ノ船ノ往ク所ハ第一横濱カラ上海デアル、夫カラ神戸カラ長崎ヲ經テ朝鮮ノ釜山仁川ヲ通ッテ支那ノ芝罘カラ天津ヘ往ク航路ガ一ツ夫カラ神戸カラ長崎釜山仁川芝罘ヲ經マシテ支那ノ北部牛莊ヘ往クガ一ツ、又上海カラ長崎釜山元山ヲ經マシテ浦潮ヘ往クガ一ツ、夫カラ横濱カラ時々呂宋島ヘ往クカ一ツ又是ハ定期デヤゴサリマセヌガ濠太利亞ノ方ヘ時々往クヤウデゴサリマス或ハ三池丸ナトガ香港ト新嘉波瓜哇ノ間ヲ航海シタコトモアリマス是ガ今日マデ日本ガ外國ニ開イテ居ル航路デアリマス其外大坂カラ朝鮮ノ各港ヘ大坂商船會社ノ船ガ交通ヲシテ居リマス、是丈ケノデアル是丈ケノ中デ日本ノ航路ノ基礎ガ定ッテ居ルカトイフト充分定ッテ居ルトハ申兼テマス、此第一長崎カラ釜山、元山ヲ經テ浦潮斯德ニ往ク船路ニ付テモ追々餘程憂ヘナケレバナラヌト思ヒマス、大石正巳君ノ話ダッタカト思ヒマス先生ガ浦潮斯德デアムール區ノ總督パロン、コルフニ遇ッタ時ニパロンコルフノ話シニ日本ガ幾ラ浦潮斯德ニ船路ヲ延シテ居ッテモ私ハ恐レルニ及バヌ、是マデ日本ガヤリ來ッテ居ル所ヲ以テ見ルナラバ別ニ意ニ介スルニ足ラヌ、併シ



ナガラ露西亞ノ滊船會社ガ浦潮斯德ト上海ノ間ニ航海ノ基礎ヲ定メナイ内ニ英吉利ノ滊船ガ航路ヲ開クヤウノコトガアッテハ露西亞ノ滊船會社ノ爲ニ非常ニ嘆ズベキコトデヤトイフ話デアリマス、彼奴等ハ其通リ我々ヲ見透スヤウナ無禮ナ考ヲ以テ居ル、我航海ニ從事スル郵船會社ハ餘程此邊ハ注意シナケレバナラヌ、注意シナケレバナラヌノミナラズ現ニ諸君モ新聞ナドヲ見テ御存シデアリマセウガ浦潮斯德ノ「セベリヨーフ」ト云フ滊船會社ガ浦鹽斯德ヨリ上海迄ノ間ニ航路ヲ開イテ今日ハ月一回位デ盛デハアリマセンケレ共後ニハ望ヲ持ッテ居ルモノト思ヒマス、又今年ノ夏モ同滊船會社ガ浦鹽斯德カラ神戸マデ試航ヲ致シマシタ、試ミニ航海ヲ致シマシタ、其直グ後トデ神戸ニ露西亞ノ領事館ハ無クテ獨逸ノ領事ガ露西亞ノ領事ノ事務ヲ兼テテ居リマシタ所カ浦鹽斯德ノ滊船會社ガ試航ヲシテカラ其後間モ無ク露西亞ハ神戸ニ專任ノ領事ヲ置クヤウニナリマシタ、是ハ目下ソウ仕事ハナカラウガ追々此線路ニ於テモ仕事ヲスル覺悟デヤラウト思ヒマス、露西亞人トイフモノハ一向見タ所デハ無頓着ノヤウニアリマス、併シナカラ一度目的ヲ立テタ時ニハ矢ガ火デモ通ストイフ

ノガ流儀デアル、昨年皇太子ガ日本カラ皈リニ浦鹽斯德ニ着カレマシタ、其着ク前ニ鐵道ノ起工式ノ支度ナシナケレバナラヌ、ト云フ場合デアッテ、充分日ハ無イケレ共皇太子ガ來ル迄ニ鐵道ノ起工式ノ支度ヲヤラナケレバナラヌ、夫レデ浦盤斯德カラ五哩與マデ線路ヲ測量シテ其線路ニ當ル所ハ役所デモ住居家デモ何デモ構ハズ打壞ハストイフ風ナノガ露西亞人ノ流儀デアリマス、又古イ話デアルケレ共樺太ト千島ト交換ニナッタ話ガアル、此時分ニ露西亞ノ公使ハ何ナシテ居ッタカト云フト毎日宴會ヲシテ居ル、其時ノ英吉利ノ公使ハパークストイフテ御承知ノ通リ鋭イ男デアッタ其パークスガ其事ヲ見テドウモ外交官ハ交際スルガ當リ前ダガ併シ舞踏會ノミナシタリスルノガ外交官ノ專一ノ職務カ知ラヌト云ッテ悶ッテ居リマシタ、何ゾ圖ラン何日カ樺太ト千島トノ交換ガ成ッタトイフ一報ガロンドンニ著イタ時ニパークスカラ其事ニ付テ英吉利政府ヘ詳シキ報告ガ往ッテ居ラヌカラ夫レガ爲ニ譴責ヲ被ッタトイフ話デアリマス、近頃西比利亞貫通鐵道ハ何時ノ事カ知ラヌ、二十年先キカ知レヌトイフ噂モアリマスケレ共中央土耳其斯坦ノ砂漠ノヤウナ酷イ六ケ敷イ所ヲ僅ノ間





ニ鐵道ヲ敷イテ英人ヲ驚カシタトイフ事デアリマスカラ夫レカラ見ルト若シ必要ガ起ッタナラバ何時露西亞人ノ性質ニ依ッテ事ヲヤルカモ知レマセヌ、其曉ニハ又日本カラ浦鹽斯德マデノ航路トイフモノハ郵船會社ガ充分ヨク持堪ヘル覺悟デナケレバ迚モ露西亞人ノヤルヤウニハ及ブマイト思ヒマス、

夫レカラ朝鮮ノ港ヘ日本カラノ航路ハ是ハ大抵日本船ガ占有シテ居リマス、九分九厘マデハ日本郵船會社ト大阪商船會社トデ占有シテ居リマス、併シ支那ノ北部ノ方ニハ未ダ日本ノ船ガ勢力ガ薄イヤウデアリマス、牛莊ト天津ニ往ク線路ハ冬三箇月ノ間ハ日本ノ流船ハ休ンデ仕舞ヒマス、其間ハ無論天津ト……牛莊ヘハ氷ガ閉デテ居テ往ク事ハ出來マセヌガ芝罘マデハ往ク事ガ出來ル、併シ日本郵船會社ハモウ往キマセヌ、漸ク朝鮮ノ仁川位デ止マッテ、餘リ荷物ノ無イ所ナアチラコチラシテ芝罘マデ往キマセヌ、所ガ芝罘ト日本トノ間ハ冬ノ間デモ外國ノ船ガ通ッテ居リマス、獨逸、那威ノ船ガ通ッテ兩國間ノ荷物ヲ運搬シテ居リマス、夫レカラ日本カラ上海マデノ間ハ是ハ外ノ歐羅巴ノ大キナ流船會社モアル事デ御座イマスカラ日本ノ流船會社ガ充分ナ働キヲスル事ハ無論出來

ナイ、夫レデ日本ノ是マデ外國ニ開イテ居ル航路ノ有樣ハ大抵右ノヤウナ次第デ……所ガ今度帝國議會ニ出タ議案トイフモノハ是マデノ航路ニ付テハ餘リ話ガ無クテ新タニ航路ヲ開クト云フ議案ヲ考ヘテ居リマス、其新タニ航路ヲ開ク事モ素ヨリ必要デ御座イマス、ケレ共現ニ成立ツテ居ル航路ノ上ニ後來追々競爭ガ起ツテ來マス、其競爭ハナカ〳〵盛ナ競爭デ競爭ノ土臺ヲ堅メテ掛ラナケレバナラヌ必要ガアルダラウト考ヘテ居リマス(拍手喝采)

夫レカラ新シイ航路ニ付テ少シク御話ヲ致シマセウガ日本カラ濠太利亞ニ通ヒマス航路ハ日本郵船會社ニ於テハ既ニ經驗モアル事デ御座イマシセウ、素ヨリ定期トシテハヤツテ居リマセヌガ香港ヲ經テ三度カ四度カ往ツタコトガアルダラウト考ヘマス、此濠洲ヘモ日本人ガ一時ハ隨分望ヲ立テヽ移住ヲシタリ植民ヲシタリ或ハ出稼キニ往クトイフヤウナ議論モ盛ニアリマシタガ今日ハ大分衰ヘテ居リマス、併シナカラ濠洲ハ亞米利加トトモニ我カ邦ノ人カ熱心ニ進ンデ往クヘキ所デアリマスカラ日本人ハ亞米利加ヘ往クト同樣ニ濠洲ニ出掛ケナレバナラヌ必要ガアル、濠洲ノ方ハ先ヅ今日ノ所デハ他ニ競爭スル會社

# 賣捌所

東京麹町區上六番町　日成堂
同　京橋區尾張町　東海堂
同　本郷區元富士町　解明堂
同　神田區錦町　武藏屋
同　神田區一ッ橋通リ　有斐閣
同　神田區錦町三丁目　朝陽堂
麻布區永坂町五拾壹番地　旭堂

明治二十六年三月二日印刷
明治二十六年三月三日出版

定價拾錢

東京市神田區今川小路二丁目十四番地
發行兼印刷者　高橋捨六

東京市小石川區下富坂町十七番地
編輯者　濱田健次郎

東京神田區今川小路二丁目八番地
發行所　特別認可　私立　專修學校

040425-001-1

特18-122

理財科講義

浜田　健次郎／編

M26. 3

BDD-0565